



大分県立看護科学大学

大学案内 2026

さあ、
夢に近づけ!

Go after your dream!



Oita University
of Nursing and
Health Sciences

2026





プロフェッショナルとして生きる
第一歩を踏み出そう

Contents

理事長・学長挨拶 / 沿革	03
建学の精神(教育理念・教育目標・教育課程)	05
アドミッションポリシー	06
特集 看護科学大のココが魅力!	07
学部教育	11
4年間の看護学実習・技術演習	15
学部卒業後の進路	21
キャリアを積み重ねる	23
Campus Map	25
Campus Calendar	27
Campus Life	28
学生支援	29
大学院教育	31
広域看護学コース	33
助産学コース	34
NPコース	35
看護管理・リカレントコース	36
研究者養成コース/看護学専攻	37
研究紹介	39
地域社会への貢献	41
看護・医療への貢献	43
国際交流	44
納付金・奨学金	45
入試情報	46

看護の科学と人間性を備えた プロフェッショナルを育成し、 看護と社会の未来を拓く

本学は1998年に開学後、2008年に日本で初めて大学院修士課程でナースプラクティショナー（診療看護師、NP）の教育を始めました。2011年からは他大学に先駆けて、学士課程を看護師教育課程とし、高度な医療と質の高い看護を確実に提供でき、リーダーシップを発揮できる基盤を持つ看護師の育成を始めました。また、保健師と助産師教育は大学院教育とするなど、本学はわが国の看護の質を向上しけん引する役割を担ってきました。

このように、大分県立看護科学大学は新しいことへの挑戦や変化し続けること、そしてそれを学生、教職員、地域や関係機関の人々と共に、むしろ楽しんで行うことができるような大学であることをめざしています。教育では、このような新たなことに挑戦する未来志向のマインドと国際的な視点をもつ看護のプロフェッショナルを育成します。また、大分をはじめとした地域や社会のよりよい未来のために研究や活動を行います。本学には、それを実現するカリキュラムと教育体制・学習環境があります。そして、看護の面白さを存分に味わい、探究心をもって学びを深め、感性を磨くための豊富な機会を提供しています。

自律した専門職として社会に貢献したいと考えている皆さん、本学で共に新しい挑戦を楽しんでみませんか。在学生・教職員一同、心より歓迎いたします。



理事長・学長
麻原 きよみ

PROFILE

聖路加看護大学衛生看護学部衛生看護学科卒業
聖路加看護大学大学院看護学研究科修士課程修了
東京大学大学院医学系研究科博士課程修了（保健学博士）

聖路加国際大学名誉教授
一般社団法人 日本看護系大学協議会 副代表理事
一般社団法人 日本地域看護学会 理事
一般社団法人 日本看護倫理学会 理事
一般社団法人 日本公衆衛生看護学会 監事

- 1998 ● 看護学部看護学科からなる県立大学として開学
 - ケース・ウェスタン・リザーブ大学と学術交流協定を締結
 - ペース大学と学術交流協定を締結
- 1999 ● ソウル国立大学校看護大学と学術交流協定を締結
- 2002 ● 大学院看護学研究科修士課程（博士課程前期）を開設
- 2003 ● セミパラチンスク地域医療改善計画プロジェクト（JICA）に参加
 - 文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」に採択
- 2004 ● 大学院博士課程後期を開設
 - 看護研究交流センターを開設
 - 大学院修士課程入学者に助産師教育（学部にも在籍するWスクール）を開始
 - ウズベキスタン看護教育改善プロジェクト（JICA）に参画（5年間）
- 2005 ● 大学評価・学位授与機構による大学評価基準を満たしているとの認証を受ける（看護系単科大学で初）
- 2006 ● 公立大学法人大分県立看護科学大学に移行
- 2007 ● 文部科学省「大学教育の国際化推進プログラム」に採択
- 2008 ● 大学院修士課程に実践者養成コース（NPコース、助産学コース）を開設
 - 看護研究交流センターに認定看護師コース（訪問看護）を開設（2013閉講）
- 2009 ● 大学院修士・博士課程に健康科学専攻を開設
- 2010 ● 大学院修士課程に管理者コースを開設
- 2011 ● 学部を看護師教育に特化
 - 大学院修士課程に広域看護学コース（保健師）を開設
- 2013 ● 大分県国民健康保険団体連合会との連携協力に関する包括協定を締結
 - モザンビーク共和国からの看護教員の研修受け入れ（JICA）
 - 文部科学省「地（知）の拠点整備事業（COC）」に採択
- 2015 ● 予防的家庭訪問実習を開始
 - 学部に養護教諭（一種免許）養成課程を開設
 - 厚生労働省「特定行為研修指定研修機関」に指定
- 2017 ● 蔚山大学校医科大学看護課程と国際交流協定を締結
- 2018 ● 「未来応援基金」の設立
- 2019 ● インドネシア・ムハマディア大学医学部看護学科と国際交流協定を締結
 - 韓国・仁荷大学医科大学看護学部と国際交流協定を締結
- 2020 ● 新型コロナウイルス感染症下でも教育を継続
- 2021 ● 実習室DX化を推進
- 2022 ● 新カリキュラム、スタート
 - 社会看護学研究室を創設
- 2023 ● NP研究室を創設
 - 草間朋子名誉学長が第49回フローレンス・ナイチンゲール記章受賞



フローレンス・
ナイチンゲール記章



建学の精神に基づいて 看護のプロフェッショナルを育成します

建学の精神

看護学の考究

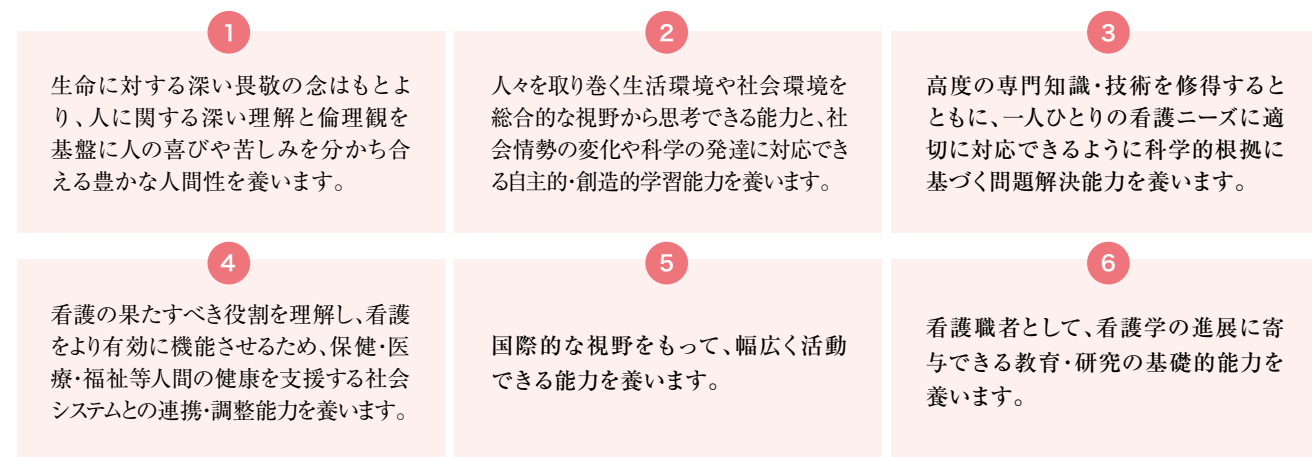
心豊かな人材の育成

地域社会への貢献

教育理念

社会で生活する人々に対する理解を深め、看護に関する専門知識・技術の修得とともに、豊かな人間性と幅広い視野や、科学的根拠に基づく問題解決能力など看護実践に関する総合的能力を養うことにより、地域社会における健康と福祉の向上に貢献し、看護の社会的使命を十分担うことのできる人材を育成します。さらに、看護学の進展に寄与できる人材を育成します。

教育目標



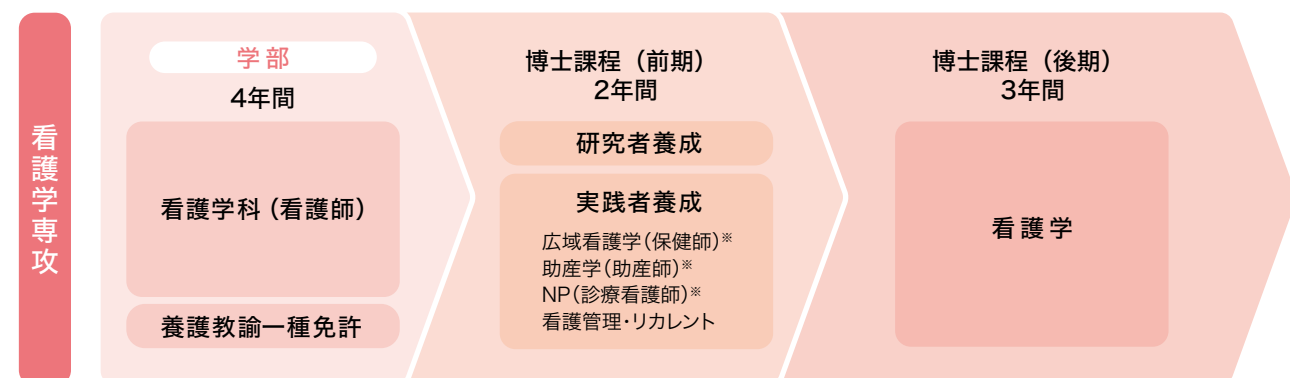
教育課程

学 部

看護基礎教育を充実し、判断力と実践力の高い看護師を4年間で育てます。
看護師の資格を持ち、学校保健のみならず地域社会に貢献できる養護教諭を育てます（選択制）。

大学 院

研究者養成では、看護学の研究者・教育者を育てます。
実践者養成では、専門性の高い教育で保健師、助産師、診療看護師（NP:Nurse Practitioner）、看護管理者を育てます。臨床や地域で活動する看護職の学び直しと研究力を育成します。



※希望する学部4年次生を対象とした特別選抜制度があります。

アドミッションポリシー

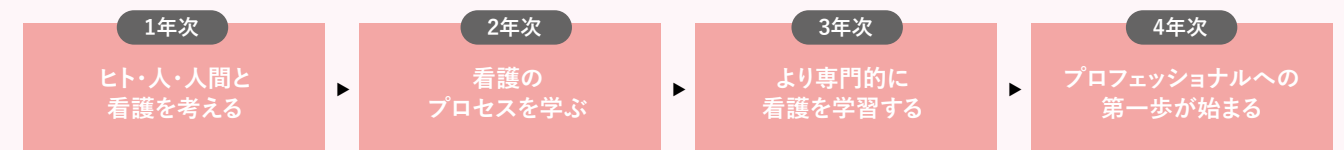
本学が求める入学者像・入学者受け入れ方針

看護学とは、人や社会と向き合い健康に関わるケアを実践していく学問である。学部では、総合的な判断力を持つ自律した看護師を育てることを目指し、「建学の精神」を理解した次のような特質をもつ人を受け入れる。

感 性	思考力	主体性
生命の尊厳に対する感性と想像力を持ち、自他ともに大切にできる人	生物学的なヒトから社会で生活する人間までを科学的に理解するための基礎学力を有する人	新たな学びや課題に向き合い、主体的に考え行動できる人

カリキュラムポリシー

看護学の基盤となる諸科学を広く学び、
看護専門講座の講義・演習・実習を通して看護実践能力を身につけます。



ディプロマポリシー

卒業認定・学位授与についての方針

心豊かな人間性・倫理観	看護の対象となる人々に深い関心を持ち、共感的に関わる姿勢を身につけている。 人間の尊厳と権利を擁護できる倫理観を備え、人々を尊重する態度で行動できる。
科学的思考力	細胞レベルの「ヒト」、1人の個体としての「人」、人間関係や社会の中で生きる「人間」を、包括的に理解するための知識を備えている。 本質を追求するための姿勢を身につけ、現象を科学的にとらえ分析的、総合的に考察できる力を備えている。 論理的な思考に基づいて、課題を解決する力を備えている。
看護の基盤となる専門知識・技能	看護を遂行するための幅広い知識、原理原則に基づいた基本的な看護技術を修得し、対象者のニーズに合わせて応用できる。 人々の健康の保持増進、疾病予防・回復の促進のために必要な看護を指導のもとに実施できる。 自分の看護観を述べることができる。
連携協働・リーダーシップ	保健・医療・福祉チームの一員として連携協働の必要性を理解できる。 マネジメントの知識を持ち、多様な職種や人々と連携・協働する基礎力を備える。 組織やチームの一員として活動する力を備え、リーダーシップをとれる。
地域性・国際性	地域の環境が人々の生活や健康に及ぼす影響を理解し、看護の在り方を考えることができる。 多様な文化・言語・社会的背景をもつ人々の価値観を尊重しながらコミュニケーションを図る力を備えている。 地域や国際社会の健康課題とその背景に関心を持ち、多様な場で看護を展開する素地を持つ。
探究心と創造力	看護専門職者の自覚をもち、看護の本質への高い関心と専門性探究の意欲を持つことができる。 指導の下で看護の質の向上に資する一連の研究過程を理解し、研究を実施できる。 看護活動とケアの質改善に関心を持つことができる。

特 長

4年間の看護師教育に特化し、
右記の特徴的な看護教育を
実践しています。

- 1 科学的根拠に基づく判断と看護実践能力の育成
- 2 理論と実践に基づく総合力、マネジメント能力の育成
- 3 国際的視野を持ちグローバルに看護を考える能力の育成
- 4 きめ細やかな学生対応による心豊かな感性の育成
- 5 地域の視点で看護を考える能力の育成

看護科学大の ココが魅力!

「予防的家庭訪問実習」は、2015年から継続して実施している本学独自の
実習プログラムです。その内容や学習
効果について、学生に語り合ってもら
いました。

実習の流れ

この実習では、1〜4年生が縦割りチームを組んで4年間継続して
地域にお住いの協力者を訪問。協力者とコミュニケーションを取る
中で、高齢者の健康と生活維持について考える力を養い、さらに、そ
れを支える地域のあり方についても学びます。

協力者 大学近隣の富士見が丘団地・横瀬地区・野津原
地区に住む70歳以上の高齢者

年間訪問回数 7〜9回(各1時間程度)

座談会チーム2024年の例

協力者 ひとり暮らしをしている70代の女性。お話しする
のが大好き。普段から自分で血圧測定を継続、月の半分はジ
ムにも通っており健康意識が高い。そのためとてもお元気が
が、数年前に膝の手術を経験。

4月 □ 新1年生が入学し、チーム4人で初顔合わせ

POINT 先輩たちから1年生へ、
あらかじめ協力者の情報を共有!

□ 1年間の目標設定

2024年目標=「楽しく話す」をメインに、
セルフケアを高め継続もできる支援をする。

□ 新メンバーで初訪問

血圧に加え、握力を初めて測定。結果、平均値よりも
下まわっていたので握力の維持向上を目指すことに。

POINT 訪問は2人1組で行う。
4月に担当する月をスケジュール調整。

□ 訪問内容を記録

POINT 記録はクラウド上で共有できる。
教員からのコメントも!

5月 □ 2回目の訪問

握力の維持向上ができるよう、ストレッチ方法を
紙に書いて協力者に提供。

6月 □ 3回目の訪問

渡したストレッチを毎日継続できている様子。
そこで、訪問時に学生と一緒にやってみることに!

7・8月 夏休み

9〜1月 □ 訪問を継続

2月 □ 1年間のまとめ

3月 □ 4年生が卒業



訪問の様子

01 座談会 学年を超えて、 「予防的家族 庭訪問実習」

— 協力者の方を訪問して、どんなことが印象に残っていますか?

合 澤 私たちグループの協力者さんは、旅行でハワイに行ったり、小
さな陶芸教室を開いていたりする活動的な方です。

山野内 絵を描いたり、クイズを解いたり…本当に多趣味! いつも新しい
話題があるので私たちも訪問するのが楽しみで、刺激をもらって
います。

野 上 「陶芸をしたことない」と言ったら、一緒にやってみよう誘って
くれたんです。自分から「やろう」とは思わないようなことに挑戦で
き、貴重な経験をさせていただきました。

浅 岡 初めて訪問した際、陶芸をしながらお互いのことをたくさん話
しました。そうしたら、2回目に訪問した時に名前を覚えていてくれ
たんです! それがいちばん嬉しかったです。

— 長く協力者さんと関わる中で、何か相手の変化を感じていますか?

山野内 私たちが訪問するのをとても楽しみにしてくれています。普段
は1人で過ごすことが多いそうなので、訪問すること自体が良い
機会になっていると思います。

合 澤 握力測定の結果が思ったより低かった時は、身体能力が落ちや
すいという話もしたところ、「頑張らんと!」と言って 前向きな気

2年
のがみ まな
野上 真那さん

4年
あいざわ りほ
合澤 里歩さん



地域で学ぶ 庭訪問実習」

持ちになってくれました。

— 各学年に、実習目的やチーム内での役割があります。それに対して自
分の成長をどんなところに感じていますか?

浅 岡 1年生は、協力者さんの全体像を把握して、コミュニケーション
を取る ことが目的。これまでに1人の高齢者の方と深く向き合
った経験がなかったし、自分から話すことも苦手でしたが、訪問す
る度にだんだん話に参加できるようになりました。

野 上 2年生の目的は、アセスメント(※1)ができる ようになること。
会話も1年生の頃は先輩方がリードしてくれましたが、2年生に
なり、自分から積極的に質問できるようになったと思います。

山野内 3年生は、アセスメントの結果から医療面・生活面ともに 必要な
支援を考え、実際にケアをすることまでが目的です。最初は、会
話の中から自然と得たい情報を引き出すことに難しさを感じて
いましたが、先輩方のやり方から学ぶうちに上手になってしま
した。チームでは、サブリーダーという立場。先輩としてリードし
つつ、後輩の2人からも教わることがあり、互いに学び合える関係
です。

合 澤 4年生になると、協力者の方がお住まいの地域での暮らしを継

1年
あさおか みさき
浅岡 心咲さん

3年
やまのうち はるな
山野内 遥菜さん



続できるよう、必要な社会資源(※2)を考える ことが目的となり
ます。実際、他の実習でどんな社会資源があるのか学ぶので、そ
れを協力者さんの生活とどう結びつけられるか、考えられるよう
になった自分に成長を感じています。そしてチームのリーダーと
しては、他のメンバーの訪問内容を記録をしっかり見て把握する
ことはもちろん、チームの雰囲気を良くして、毎回楽しく訪問で
きるように心がけました。

— 予防的家庭訪問実習の良いところは?

合 澤 協力者さんは、私が関わっている間に膝の手術をしました。手術
前は杖をつきながらも歩行が不安定でしたが、術後はだんだ
ん歩くスピードが早くなり、「手すりを使わずに立てるようにな
ったよ」と笑顔で話してくださって! そういう 変化を継続的に見
られる ことが、この実習の良さの一つです。

野 上 また、病院実習では患者さんの病気や疾患に注目しがちですが、
予防的家庭訪問実習のおかげで患者さんの“生活”にも目を向け
ることができます。退院後にどう暮らしていくのか? という 長期
的視点が持てる ところも魅力だと思います。

— “4人”でチームを組むことのメリットはありますか?

山野内 互いに学び合える だけではなく、他の実習についても 先輩から
アドバイス ももらっています。

浅 岡 私も、先輩たちに進級試験のときにどんな勉強をしていたか聞
いています。

— では、最後に今後の夢や目標を教えてください。

合 澤 就職先が決まり、卒業後はいよいよ病院での勤務が始まります。
この実習で学んだことを活かし、患者さん一人ひとりの入院前後
に思いを馳せ、適切な援助・看護ができる看護師になりたいで
す。

山野内 私は、このチームでは合澤さんのような頼れる先輩になりたい
です。それから、80代に入る協力者さんは身体機能の変化も
現れてくると思うので、今後を予測した情報提供や支援ができ
るよう頑張りたいです。将来は、助産師を目指しています。妊産
婦さんの場合も、子育てをしていくことになる生活環境が大事。
先々を見据えられる助産師になればいいと思います。

野 上 これまではコミュニケーションを取ることが主な目的でしたが、
上級生になるので、アセスメントしたことを提案して、協力者
さんにとってプラスになることができるようになりたいです。将来
は、患者さんの言葉に耳を傾けて、安心感を与えられる看護師
になるのが夢です。

浅 岡 私は先輩方のように、自分から積極的に協力者さんに話しかけ
たり、提案したりできるようになりたいです。将来は、地元で看
護師になりたいのですが、高齢化率の高い地域なので、この実
習を通して、高齢者の方への接し方をしっかり身につけたいと思
います。ちなみに、それを学べる予防的家庭訪問実習があるか
ら、私はこの大学を選びました。

※1 アセスメント=患者(実習では協力者)の情報を収集し、看護の観点からどのよ
うな問題があるのかを分析・評価すること

※2 社会資源=社会福祉の支援のために用いられるサービスやシステムなどのこと

…実習における目的となるキーワードをピックアップ

…この実習を行って得た効果をピックアップ



02 健康科学実験

実験を通じて 科学的根拠を体得

建学の精神の一節に「科学的根拠に基づく問題解決能力など看護実践に関する総合的能力を養う」とある通り、本学では2年次に、必修科目として〈健康科学実験〉を受講します。この講義では、下記の10個のテーマを設定し、座学に加えて実験や測定を実際に体験することによって、人の身体や健康に関する事柄、または私たちをとりまく自然環境に関する現象を科学的に理解し、医療従事者として適切な説明ができる能力を養います。

2024年度の実験テーマ

- ①解剖実習：献体されたご遺体の解剖を見学する
- ②組織学実習：人体の各臓器の組織を顕微鏡で観察する
- ③血液検査：Ht値、CRP検査、血球数算定などを行う
- ④基礎微生物学実験：無菌操作や微生物の培養と観察
- ⑤ラットの解剖：臓器を観察して人との違いを見出す
- ⑥放射線：移動式X線撮影装置周辺の放射線量を測定
- ⑦医療放射線による生物影響の観察：X線によるDNA損傷の発生頻度を測定
- ⑧染色体異常：染色体標本を顕微鏡下で観察
- ⑨呼吸循環器系持久力：最大酸素摂取量を測定
- ⑩バイオメカニクス実習：表面筋電図を用いて人体の運動における力学的特性を理解する

例えば⑥⑦のテーマでは、自然界の放射線量やポータブルX線撮影装置での被曝量を測定し、人の細胞に影響がないことを実際に目で見て確かめます。この経験があることで、将来、レントゲン撮影による被曝を敬遠する患者さんに自信をもって「大丈夫」と説明ができるのです。こうした実験を行える専門教員が在籍していることも、本学の強みです。



03 養護教諭〔一種免許〕養成課程

看護実践能力の高い 養護教諭を育成

養護教諭とは、「保健室の先生」のこと。怪我や心身の不調がある児童・生徒のケアや、保健教育、身体測定、保健室の運営管理などを行う仕事です。本学には、小・中・高校、特別支援学校で勤務するために必要な資格である養護教諭一種免許の養成課程（以下、教職課程）があります。

教職課程を履修するための経費は、実習にかかる移動費用などを除いて特別に必要ありません。看護学の学修に加え、教職課程の25単位を取得すれば、卒業時に養護教諭免許が授与されます。履修を希望する場合は、1年次の1学期に開催するガイダンスに参加し、2学期から教職科目の履修が始まります。

ただし、本学は看護師国家試験の受験資格の取得を卒業要件としているため、教職課程の単位を満たしても、卒業できなければ養護教諭免許は与えられません。またカリキュラムの都合上、2年次に教職課程履修は難しく、3年次進級前に履修継続の判定も行っています。看護学と教職課程の両立が必須なのでハードではありますが、毎年15名前後程度が免許を取得しています。

近年は、医療の高度化にともなって、適切な医療的ケアを受けることで学校に通える児童・生徒が増えているほか、こどもの健康課題は複雑化しています。保護者、地域や医療機関との連携ができ、看護実践能力の高い養護教諭が求められていますので、挑戦しがいのある仕事です。募集人数が少ないため、教員採用試験の合格が難関ですが、看護師として働きながら採用を目指すことも可能です。まずはキャリアプランをよく考えて、履修の扉を開いてください。

■養護教諭〔一種免許〕養成課程履修生の卒後の進路

令和3年度	養護教諭	4名
	医療機関	4名
	大学院等進学	1名
令和4年度	養護教諭	2名
	高等学校教諭(看護)	1名
	医療機関等	11名
	大学院等進学	3名
令和5年度	養護教諭	2名
	教育機関	1名
	医療機関等	6名
	大学院等進学	2名



04 国際看護と留学

看護に求められる グローバルな視点

環境問題と同じく、健康問題も昨今は1つの国や地域だけで解決できなくなってきています。また、日本に居住する外国人の数が増えている中、看護職の倫理綱領にあるように看護のケアでは人種や国籍、宗教、文化などを尊重した実践が求められるという視点も必要です。本学には、世界中の人々を看護の対象者として考える国際看護学研究室があり、活発に国際交流を展開。開学以来、韓国、アメリカ、インドネシアにある6つの大学と姉妹校、あるいはMOU(Memorandum of Understanding / 学術交流協定校)を結んでいるほか(→P44)、国際フォーラムも主催しています(→P43)。韓国の蔚山大学とは、双方の学生が往来し学び合う交流プログラムを続けています。また、インドネシアのムハマディア大学のサマースクールに参加することもできます。

また、海外で知見を広げるために留学を希望する学生には、下記に代表されるような、学内外のさまざまなプログラムを活用して支援しています。JCSOS(海外留学生安全対策協議会)に加盟しており、渡航の際には海外危機管理マニュアルを徹底しています。

●トビタテ! 留学JAPAN

若者の海外留学を官民協働で応援する、文部科学省のプログラム。自分で企画した留学プランを応募し、採用された場合に留学費用等が支給されます。令和6年度は本学から1名が採用され、イギリスのロンドンのNational Health Service(NHS)の関連施設等で半年間の留学に挑戦しました。

●個人短期海外研修プログラム

令和4年度から始まった本学独自の留学プログラム。学生本人が研修内容を企画し、派遣が決まった学生(年間2名)には、創立20周年を機に設立された未来応援基金から1名につき上限10万円が支給されます。令和6年度に1名がケニアで研修しました。



05 看護技術演習のDX化

反転授業の活用で 実技を繰り返し学ぶ

同じ病気にかかった患者さんでも人によって症状や感じ方は違い、一人ひとりに適切な看護が求められます。そのため、看護技術を習得するにあたっては、手順を覚えるだけではなく、目の前の対象者に必要な看護を判断する思考力が必要です。

本学の看護技術演習では、令和4年度からICTを活用し、教育のDX化に取り組んでいます。授業は、2コマ続きの計180分。従来は、最初の60分で知識を学ぶための対面講義をし、その後120分の課題演習(デモンストレーション30分を含む)を展開していました。現在は、事前に講義内容を動画で配信。その閲覧を予習とし、授業時間のすべてを課題演習にフル活用できるようになりました。グループワークで検診と実践、振り返りを何度も繰り返すことができるほか、限られた時間で目標を達成するための主体性やタイムマネジメント力など、社会に必要なとされる能力も育成できるようになりました。さらに、実習室も改装。デモンストレーションを2方向から同時にライブ配信できるようになったほか、演習用のベッドサイドにスマートフォンやタブレットの接続を可能にしたモニターを設置して、配信された動画や資料を確認できるようになっています。

看護技術演習では、実技試験を行っており、これにもICTを活用しています。以前は教員2名の目視で学生の実演を評価していましたが、カメラで撮影した映像を見て評価することで、客観的な評価が可能になりました。試験時間の予約や映像の提出もPC上で行っています。看護技術を適切に展開し、難易度の高い技術も習得できた学生が確実に増えています。



1年次 ヒト・人・人間と看護を考える

人間について幅広く学び関心と認識を高めます。
また、初めての臨地実習を通して看護職の魅力を発見し、学習へのモチベーションもアップします。



コミュニケーション論



健康情報処理演習Ⅰ・Ⅱ

1年次 カリキュラム

*選択科目

…実習科目

人間科学	
● コミュニケーション論	● 健康情報学
● 人のこころの働き	● 生物統計学
● 人間関係学	● 健康情報処理演習Ⅰ
● カウンセリング論	● 健康情報処理演習Ⅱ
● 大学ナビ講座	● 生体構造・機能論Ⅰ
● 英語Ⅰ-A1	● 生体構造・機能論Ⅱ
● 英語Ⅰ-A2	● 生体代謝論
● 英語Ⅰ-B1	● 病理学総論
● 英語Ⅰ-B2	● 病理学各論
● 言語表現法	● 微生物免疫論
● 韓国語*	● 健康スポーツ
● 哲学入門*	● 健康運動ボランティア演習
● 社会学入門*	● スポーツ救護*
● 法学入門(日本国憲法)*	● 生命科学入門
● 環境保健学概論	● 看護サイエンス入門*

基礎看護科学
● 看護学概論
● 看護理論入門
● 身体観察技術論
● 身体安楽援助論
● 生活援助技術論
● 基礎看護学実習
● 看護疾病病態論Ⅰ
● 看護疾病病態論Ⅱ

広域看護学
● 健康支援概論
統合科目
● 予防的家庭訪問実習Ⅰ

2年次 看護のプロセスを学ぶ

基礎看護を学び、専門看護学の学習が始まります。
疾病やその治療に応じた看護を習得します。



放射線健康科学



診療補助技術論(基礎編)



ヘルスアセスメント

2年次 カリキュラム

*選択科目

…実習科目

人間科学

● 発達心理学*	● 保健ボランティア*
● 行動療法論*	● 放射線健康科学
● 音楽とこころ*	● 薬理学Ⅰ
● 美術とこころ*	● 健康運動学演習*
● 英語Ⅱ-A1	● 健康運動学
● 英語Ⅱ-A2	● スポーツ救護
● 英語Ⅱ-B1	● 健康科学実験
● 英語Ⅱ-B2	
● 社会保障システム論Ⅰ	
● 文化人類学入門*	

基礎看護科学
● 診療補助技術論(基礎編)
● ヘルスアセスメント
● 看護アセスメント学概論
● 看護アセスメント学演習
● 看護アセスメント学実習

専門看護学
● 成人看護学概論
● 老年看護学概論
● 成人看護援助論Ⅰ(急性期)
● 成人看護援助論Ⅱ(回復期)
● 成人看護援助論Ⅲ(慢性期)
● 老年看護援助論Ⅰ
● 老年看護援助論Ⅱ
● 小児看護学概論
● 母性看護学概論
● 母性看護援助論Ⅰ
● 精神看護学概論
● 精神看護援助論Ⅰ

広域看護学
● 看護管理学概論Ⅰ
● 家族看護学概論
● 地域看護学概論
● 国際看護学概論
● 国際看護学演習*
統合科目
● 予防的家庭訪問実習Ⅱ
● 基礎看護援助技術演習*

STUDENT'S VOICE



人間について基礎を学ぶ、 学業とサークル活動で看護力を高める

学部1年次 本田 陽詩 さん

1年次では、人体の構造や働き、患者さんとかかわる上で重要となるコミュニケーションの方法について学びます。看護師になるための土台を作っていくイメージです。私の所属するボランティアサークルでは、キャンプやクリスマス会などのイベントを通して1型糖尿病の子どもたちとかかわります。サマーキャンプは特に大変でしたが、笑顔で「来年もまたやりたい!」と言われたときはとても嬉しかったです。2年次からも、勉強やサークル活動に熱心に取り組んでいきたいです。

STUDENT'S VOICE



根拠に基づいた理論や原則、 科学的に看護に向き合う

学部2年次 八木 幸次朗 さん

2年次では、看護の基礎となる理論や原則を学びます。科学的思考の大切さ、特に根拠に基づいた看護実践の重要性を体感し、倫理的な判断や臨床での基礎を学習できました。また健康科学実験では、人の生理的・心理的反応を科学的に捉える視点を得られるなど、患者さんの状態を評価し適切なケアをする力を養います。今後は、多様な健康課題に対応できる判断力や調整力を身につけていき、関心がある地域医療や在宅看護にも幅広い視野を持って学びを深めていきたいです。

3年次 より専門的に看護を学習する

本格的に看護師を想定した実習や演習が行われます。特に長期間にわたって県内の病院で実習し、経験を積むことで、これまでに得た知識や技術を活かす喜びを感じることができます。



成人看護学演習



地域生活支援論



災害看護学

3年次 カリキュラム *選択科目

人間科学	専門看護学	広域看護学
● 保健学詳論 ● 環境疫学・生物学演習 ● 薬理学Ⅱ ● 英語Ⅲ*	● 成人看護援助論Ⅳ（終末期） ● 成人看護学演習 ● 老年看護学演習 ● 老年看護学実習 ● 成人看護学実習Ⅰ ● 成人看護学実習Ⅱ ● 小児看護援助論Ⅰ ● 小児看護援助論Ⅱ ● 小児看護学演習 ● 小児看護学実習 ● 母性看護援助論Ⅱ ● 母性看護学演習 ● 母性看護学実習 ● 精神看護援助論Ⅱ ● 精神看護学演習 ● 精神看護学実習	● 看護管理学概論Ⅱ ● 在宅看護学概論 ● 在宅看護援助論 ● 地域生活支援論 ● 国際看護比較論
		統合科目
		● 予防的家庭訪問実習Ⅲ ● 災害看護学 ● 臨床看護援助技術演習 ● 看護科学研究

STUDENT'S VOICE



保健師を目指して、
実習で看護を考え学びを深める

学部 3年次 増田 朱里 さん

3年次では3か月の専門領域実習に行きます。赤ちゃんから高齢者まで幅広い年齢層の様々な方を受け持ち、患者さんに応じて必要な看護を考え、実践します。各領域で特徴的な看護を行うことは大変ですが、看護師さんからアドバイスをいただき、知識を一層深めることができました。将来は大部分の保健師として、地域の人が安心して健康に過ごせるように地域看護に取り組みたいです。残り1年の学生生活が有意義なものになるように卒業研究などに取り組みます。

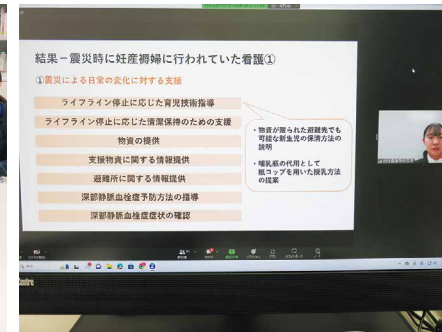
4年次 プロフェッショナルへの第一歩が始まる

自分の関心を持った分野を探究していきます。

総合看護学実習や卒業研究を通して、自ら探究することで、プロフェッショナルへの第一歩が始まります。



原著講読



卒業研究



4年次 カリキュラム *選択科目

人間科学	統合科目	【卒業研究における講座編成・研究室】
● 社会保障システム論Ⅱ ● 応用生体機能病態論	● 予防的家庭訪問実習Ⅳ ● 応用看護援助技術演習* ● 総合看護学実習 ● 卒業研究 ● 原著講読	
広域看護学		
● 看護政策論 ● 在宅看護学実習 ● 地域看護学実習		
		人間科学講座
		● 生体科学 ● 生体反応学 ● 健康運動学 ● 人間関係学 ● 環境保健学 ● 健康情報科学 ● 言語学
		専門看護学講座
		● 成人看護学 ● 老年看護学 ● 小児看護学 ● 母性看護学 ● 助産学 ● 精神看護学 ● NP
		基礎看護科学講座
		● 基礎看護学 ● 看護アセスメント学
		看護研究交流センター
		● 看護管理学 ● 地域看護学 ● 国際看護学 ● 社会看護学
		広域看護学講座
		● 看護管理学 ● 地域看護学 ● 国際看護学 ● 社会看護学

STUDENT'S VOICE



グループワークを通じて、
多角的な捉え方・チーム医療を学ぶ

学部 4年次 衛藤 怜那 さん

4年次生では、グループワークでの実技演習を行う機会が多くなります。経験で得た知識を持ち寄り、適切な医療技術であるか、より良い看護を提供できているかを検討し、先生方の助言も参考にしながら1つの援助を作り上げていきます。チームで取り組むことは、多角的に物事を捉えられ、自分にはない発想が得られました。将来、病棟でチーム医療の一員として取り組む際、自分の考えだけにとらわれず、周囲の人の力に頼りながら患者さんファーストの医療を提供できるようにしていきたいです。

4年間の看護学実習・技術演習

看護学実習各時期の講義と関連した実習を段階的に進め、理論と実践を統合させて総合的に看護を行うことを学びます。

1年次

2年次

3年次

4年次

point 01

本学における看護学実習のねらい

- ① 個々の対象を尊重しながら、主体的に発展的な人間関係を築くよう努め、対象を総合的に理解する能力を養う。
- ② 個々の対象の健康レベルやライフステージにおける心身の状態や生活を理解し、その対象に応じた適切な看護を科学的な判断に基づいて実践する能力を養う。
- ③ 保健・医療・福祉分野における関連職種との連携や社会資源の活用を通して看護専門職の役割を考える。

基礎看護学実習



1人の入院患者さんを受け持ち、これまでに学んだ看護の知識、技術を活用しながら、看護の対象としての人間の健康について生活者の視点から理解します。また、病気による生活への影響に対する考察を通して、受け持ち患者さんが必要としている看護を思考する基盤形成のための実習です。



基礎看護援助技術演習



環境調整技術、食事援助技術、排泄援助技術、活動・休息援助技術などの事例の中から学生自身が強化したい看護技術を含む事例課題を選択し、課題に基づいた看護技術展開を繰り返し実施、評価しながら身につけていきます。

看護アセスメント学実習

対象理解のための理論を活用し、受け持ちの入院患者さんのニーズを専門的に捉えます。患者さんに寄り添う姿勢を大切に、コミュニケーションをとる、観察する、聴診器で身体の内音を聴く、カルテから情報を得るなど、身体面、心理面、社会面から総合的かつ分析的に患者さんを理解する方法について実践的に学習します。



臨床看護援助技術演習

救命救急処置技術を中心に演習を行い、学生は看護職者としての自信と自覚を身につけていきます。

専門看護学実習

成人看護学実習Ⅰ

手術や急な病気で治療を受ける人の看護を病院で学習します。急な病気は身体も精神も不安定となります。このような急性期の看護を実践する力を養います。

成人看護学実習Ⅱ

糖尿病や腎臓病など生活習慣病をもつ成人は年々多くなっています。一生涯、病気とともに生活する人々への看護を実践します。

小児看護学実習

最初に市内の保育施設で健康な乳幼児の保育を通して、子どもの成長、発達を学びます。その後、総合病院や医療型福祉施設で病児や家族に関わります。それぞれの病気や発達に合わせて必要な援助技術を用いて看護を実践します。

の看護学実習を行い、実践を通して学びます。



精神看護学実習

精神科病棟と障害者福祉サービス事業所で、精神疾患を持つ人と援助の対人関係を形成し、その人を身体・心理・社会的側面から全人的に理解し看護を学びます。地域保健や福祉とのつながりを理解し、生活の支援について考えます。

老年看護学実習

本実習では介護老人福祉施設もしくは介護老人保健施設で、介護が必要な高齢者の生活の場での看護を学びます。

母性看護学実習

妊娠・分娩・産褥各期の母子の生理的変化や心理・社会的特徴を理解し、母子およびその家族のセルフケア能力や親役割獲得の援助を学びます。生命誕生に関わる母性看護領域の看護職の役割と、生命の尊厳への認識を深めます。

「地域で暮らす人々」を支えるための看護について学びます。



地域看護学実習

保健所や市町村保健センターで家庭訪問や健康相談、健康教育などの実習を行います。また、実習地域を踏査し、出会った人々から地域の特性や文化、生活の在り様などを学びます。看護の広がりとして個人だけでなく家族や地域に働きかけることの意義や方法について学びます。

在宅看護学実習

疾病や障害を持つ方々が在宅でより良い生活をおくれるように、様々な職種と協力しながらケアを提供する方法について、訪問看護ステーションを中心に学びます。在宅を中心に地域包括ケアの視点から病院、福祉施設、行政機関とのつながりも学び、在宅看護への理解と実践に繋がります。



総合看護学実習

大分県内の約40ヶ所の実習施設の中から、学生自らが実習施設を選び、関心のあるテーマで実習計画を立て、施設のスタッフの中に入り込み主体的に実習を行います。自主性・積極性を養う4年間の集大成としての実習です。

応用看護援助技術演習

症状・身体機能管理技術、感染予防技術、安全管理の技術、安楽確保の技術などの事例の中から学生自身が強化したい看護技術を含む事例課題を選択し、課題に基づいた看護技術展開を繰り返し実施、評価しながら身につけていきます。



point 02

本学における看護学実習の特徴

本学の看護学実習は、4年間を通して5つの段階に分けられ、学習レベルに応じた実習を段階的に行っていきます。基礎看護学実習では、初めて看護の現場に触れ、受け持ち患者を受け持つことから始まり、看護の対象も個人から地域・システムへと広がりをもたせながら、最終的な総合看護学実習では自律的に計画し実施することで、専門職としての自覚を高められるように構成されています。

看護技術だけではなく、
“思い”に寄り添うことの大切さを学んで —— 学部1年次 吉山 寿音さん



NP(診療看護師)を目指し、看護科学大学へ

高齢化が進む中で今後ますます需要が高まると考えられている訪問看護には、技術面以外にも「生活環境を把握できる」「利用者さんやご家族と円滑なコミュニケーションを図る」など、様々なスキルが必要となります。地域志向の本学では予防的訪問実習や、地域イベントにボランティアとして参加する機会等を通じて地域の方々と交流できる場面が多く、それらのスキルを身につけられると感じたことが志望理由のひとつです。

また、私はより多くの医療行為で患者を救えるNPを目指しており、「NP コース地域枠特別選抜制度」にも魅力を感じました。

実習で患者さんへの接し方を学んだ



基礎看護学実習では、バイタルサイン測定の際に患者さんの疾患やその時の病態に合わせて個性に考慮した質問をし、その答えと測定値を比較することで現状を把握できることを学びました。患者さんの発する言葉に対して肯定的な返しをし、非言語コミュニケーションを活用することで“患者さ

んも安心して楽しそうにお話できるのだ”と実感できたことも貴重な経験だったと思います。

ほかにも、一人ひとり価値観や考え方が異なること、患者さんの体調が悪い時こそコミュニケーションをとり現状を把握したうえで必要なケアを考えて実行することで安楽につながることを、看護師同士や他職種間との情報共有を大切にすることでより良い看護を提供できるなど、看護師として働く上で重要なことを現役の看護師さんから助言をいただきながら、数多く学ぶことができました。

患者さんの笑顔に励まされて

実習最終日に担当していた患者さんへ感謝のお手紙を渡した際、実習期間(2週間)で初めて笑顔を見せてくれたことが、本当にうれしかったです。

卒業するまでに看護技術のみならず、患者さんの最終的な目標に向けて、思いを聞き出すためのコミュニケーション能力や、思いをくみ取る能力、その思いや現状からアセスメントする能力を学び、身につけ、患者さんやそのご家族の思いに寄り添った看護を行うことができる看護師になりたいと思っています。



実習での出会い、学びを通じて
看護の奥深さを実感 —— 学部2年次 江田 琳さん



将来の目標に向かい、勉強に励む日々



大分県内にあり、看護の単科大学なので同じ看護師になるという目標を持った同年代の人たちと学べる、様々な実習室や実践的なものを取り入れた実技演習ができるという理由で本学を志望しました。

大学で基礎的な看護技術を身につけ、将来は病棟で経験を積んで認定や特定などの資格に挑戦し、専門的な知識・

技術を習得したいと考えています。ほかにも、「いろんな資格をとる」「言語を学んでより多くの人と直接会話する」「いろんな世界を自分の目で見て、経験する」など沢山の夢があります。

患者さんのためにできることを考える

看護アセスメント学実習では、患者さんが病気や治療を受け入れていく精神的な変化の過程を学びました。私の受け持ち患者さんは今後一生継続治療に対して苦痛や不安を抱えており、身体だけでなく精神面に対しても気を配り、しっかり様子を観察していくことの重要性を実感しました。ほかにも、患者さんの退院後の希望や退院先・支援し

てくれる人などの情報を集め、退院指導を行うこと、その時にただ説明するだけでなく、患者さんが日常生活で想像しやすい状況を具体的に添えて説明すること、患者さんの情報収集やアセスメントを行う上での疾患や検査に対する知識の重要性など、患者さんへの向き合い方、寄り添い方を学べたように思います。

また、診療補助技術論では正しい手技の習得や事前の準備によって患者さんに与える侵襲を軽減できること、注射の授業では誤薬防止のために看護師が担う役割の重要性などを知ることができました。



実習先の看護師さんの言葉を胸に

看護アセスメント学実習の際に看護師さんから「患者さんが江田さんと話すことで、自分の心の中に閉じ込めた思いを表に出し、整理することができたようです。ありがとう」と言われて、患者さんの不安に寄り添えたような気がしてうれしかったです。

また、患者さんへの退院指導の一環として自己管理(退院後、患者さん自身で服薬の管理などを行うこと)の練習を看護師さんと一緒に見守っていた際に「手伝いをしないことをかわいそうだと思うかもしれない。でもあえて言わない。患者さんは退院したら自分で全部しないといけないから」と言われ、患者さんの退院後の生活を考え、指導を行うことの重要性を実感しました。

その人らしくその人の望む場所で 生活できるサポートをしたい

学部 3 年次
山本 夢羽さん

地域に根ざした保健師として 多くの人を笑顔にしたい

人のためになる職業につきたい、祖母が手術で入院した時お世話になった看護師さんに憧れたことが看護師を目指したきっかけでした。将来は大分県で働きたいと思っていたので、予防的家庭訪問実習など地域に根付いた実習がある本学を志望しました。学ぶ中で目標が変わり、現在は、誰もが、その人らしく、その人の望む場所で生活できるようにサポートする保健師を目指し勉強に励んでいます。

学ぶほどに知識欲が湧いてくる



3 年次は専門領域の学習を積み、11 週間の実習を行います。実習では、患者さんの心身の状態は日々変化し続けており、治療の進行状況に応じて看護計画を柔軟に調整することが大切だと気づきました。患者さんに合わせた計画に調整すると、患者さん自身

で体調の改善を実感でき、リハビリや治療に対してより前向きな姿勢を持つことも学びました。

臨床看護技術演習では患者さんが急変した時の対応について実践しました。SBAR※1(わかりやすく相手に伝える報告の手法)を練習したのですが、要点を簡潔に、分かりやすく医師に伝えるためには、病態の知識やその対処法について理解を深める必要があります。実習を重ねて看護を知れば知るほど「もっと勉強して成長したい」と強く思うようになりました。

※1S- 状況 (Situation) B- 背景 (Background) A- アセスメント (Assessment) R- 提案 (Recommendation) の頭文字で表している。

患者さんや先生の言葉を支えに

実習では自分の考えた看護を実践して、患者さんが回復に向かう過程を見ることができます。実習最終日に、患者さんからいただいた「あなたがいてくれてよかった、本当にありがとう」という言葉、不安な時に先生にかけてもらった「頑張っているよ」の言葉はとても励みになっています。看護職を目指して良かったと心から思いました。

今後は地域看護について知識を深めたいと考えています。地域に住んでいる方一人ひとりのニーズを理解し、必要な支援を提案できるようになりたいです。また、地域診断を通して地域全体を把握し、課題点を考える広い視点を身につけたいと思っています。



患者さんにとって最良の選択ができる 訪問看護師を目指して

学部 4 年次
東 彩未さん

訪問看護師に憧れて



看護師に興味を持ったきっかけは医療ドラマです。その後、進路選択を迫られる高校 2 年生の時に“様々な現場で活躍する看護師のインタビューをまとめた本”と出会い、その中の「訪問したお宅の部屋の様子、タオルのたたみ方を見ただけで家族との関係性や精神状態など様々なこと

が分かる」という訪問看護師の言葉を読んで憧れを抱くようになりました。

本学を志望したのは在学中から予防的家庭訪問実習など訪問看護師になるための経験を積むことができるからです。

多くの学びを得た実習

初めて複数の患者さんを同時に受け持った 4 年次の実習は、看護師、そして一人の人間として本当に忘れられないものになりました。実習指導者や担当教員に何度も相談しながら、疾患・性別・年齢・家族構成などすべてが異なる 2 人の患者さんに対して“自分はこの人に何ができるのか”を考え続けた日々。未熟な自分のできることの少なさ、患者さんの経過や退院までの様子、退院後の見ることのできない時間等に対して常にもどかしさやはがゆさを感じていたように思います。一方、リハビリや食事といった学生でないと一緒にいることが難しい時間も患者さんに寄り添うことができました。これらの体験を通じて、現状に対して、できないことを列挙するよりも、できることを探していくこと、自分の強みを見出していくことの大切さを学びました。

また、実習中に不安を感じて相談した看護師さんから「あなたなら大丈夫」という温かい言葉をかけていただいたことで、患者さんだけでなく、看護師さんとも信頼関係を築けていたことが分かり、誇らしかったです。



大学や故郷へ恩返ししたい

実習を通じて成長できたと感じる点は、伝え方と言葉の選択です。看護学生、医療者として厳しい言葉になったとしても、伝えなければならないことを、相手が最も理解しやすい形で伝えることが真の優しさ、思いやりであると考えられるようになりました。

卒業後は一度県外で就職する予定ですが、いずれ大分へ戻り、訪問看護師として自分を成長させてくれた本学、ひいては故郷へ恩返ししたいと思っています。

学部卒業後の進路(就職と進学)

卒業後の進路は多様で、病院や訪問看護、学校の養護教諭としての勤務、大学院での高度専門職養成があります。
また、国際機関などで活躍する道もあり、海外での活動を目指す方も増えています。

医療機関

看護師として、病院・クリニックや福祉施設で働く道があります。
最近では、在宅で療養する方の健康管理を行う訪問看護師や起業する看護師も増えています。

看護師国家試験合格率

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
全国	89.4%	88.5%	91.0%	89.3%	89.2%	90.4%	91.3%	90.8%	87.8%	90.1%
本学	97.4%	96.0%	100%	97.4%	100%	100%	100%	97.3%	100%	98.8%

学校

養護教諭として、県内外の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等で卒業生が働いています。

大学院進学

本学では、保健師と助産師は大学院で養成しています。希望する学部4年次生を対象とした特別選抜制度があります。また、様々な臨床経験を積んだ後に大学院へ進学し、研究者や高度専門職業人(看護管理・リカレント、NP)を養成するコースへ進む道もあります。
※詳しくは、31ページ以降を参照してください。

進学先

- 大分県立看護科学大学大学院(広域看護学コース・助産学コース)
- 宮崎県立看護大学大学院博士前期課程
- 岡山大学養護教諭特別別科
- 宮崎県立看護大学助産別科
- 熊本保健科学大学公衆衛生看護学専攻科
- 兵庫県立総合衛生学院

その他

海外で看護職として働く夢を持っている方には、将来、青年海外協力隊やNGO、国際機関のスタッフとして、保健医療活動に携わる道があります。また、厚生行政への道もあります。

全国で活躍する卒業生

(2019～2025年度卒業時)

関 東

国立国際医療研究センター病院
国立がん研究センター中央病院
国立成育医療研究センター
東京医科大学病院
慶応義塾大学病院
昭和大学江東豊洲病院
北里大学病院
聖隷横浜病院
東京大学医学部附属病院
虎の門病院
東京女子医科大学病院
東京医科大学八王子医療センター
井之頭病院
日本大学医学部附属板橋病院
日本医科大学武蔵小杉病院
順天堂大学医学部附属順天堂医院
東邦大学医療センター大森病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター
横浜市立みなと赤十字病院
九段坂病院
横浜栄共済病院
横須賀共済病院
成田赤十字病院
防衛医科大学校病院
など

大分県内

大分県立病院
大分大学医学部附属病院
大分赤十字病院
大分市医師会立アルメイダ病院
国立病院機構大分医療センター
国立病院機構西別府病院
JCHO湯布院病院
JCHO南海医療センター
大分県厚生連鶴見病院
大分三愛メディカルセンター
中津市民病院
新別府病院
豊後大野市民病院
佐伯中央病院
大分県地域成人病検診センター
竹田医師会病院
天心堂へつぎ病院
井野辺病院
大分中村病院
大分丘の上病院
別府発達医療センター
など

九州・沖縄

九州大学病院
福岡大学病院
久留米大学病院
福岡赤十字病院
福岡市立こども病院
北九州市立医療センター
国立病院機構九州医療センター
国立病院機構九州がんセンター
国立病院機構小倉医療センター
JCHO九州病院
済生会福岡総合病院
浜の町病院
九州労災病院
福岡記念病院
誠愛リハビリテーション病院
高木病院
福岡和白病院
聖マリア病院
九州中央病院
小倉リハビリテーション病院
飯塚病院
JCHO佐賀中部病院
長崎原爆病院
佐世保中央病院
大村市立大村市民病院
済生会熊本病院
熊本赤十字病院
国立病院機構宮崎東病院
鹿児島大学病院
鹿児島共済会南風病院
など

近畿・中部

京都大学医学部附属病院
大阪大学医学部附属病院
国立循環器病研究センター
大阪市立大学医学部附属病院
関西医科大学附属病院
兵庫医科大学病院
一宮市立市民病院
神戸大学医学部附属病院
神戸市立医療センター中央市民病院
静岡県立総合病院
浜松医科大学附属病院
など

中国・四国

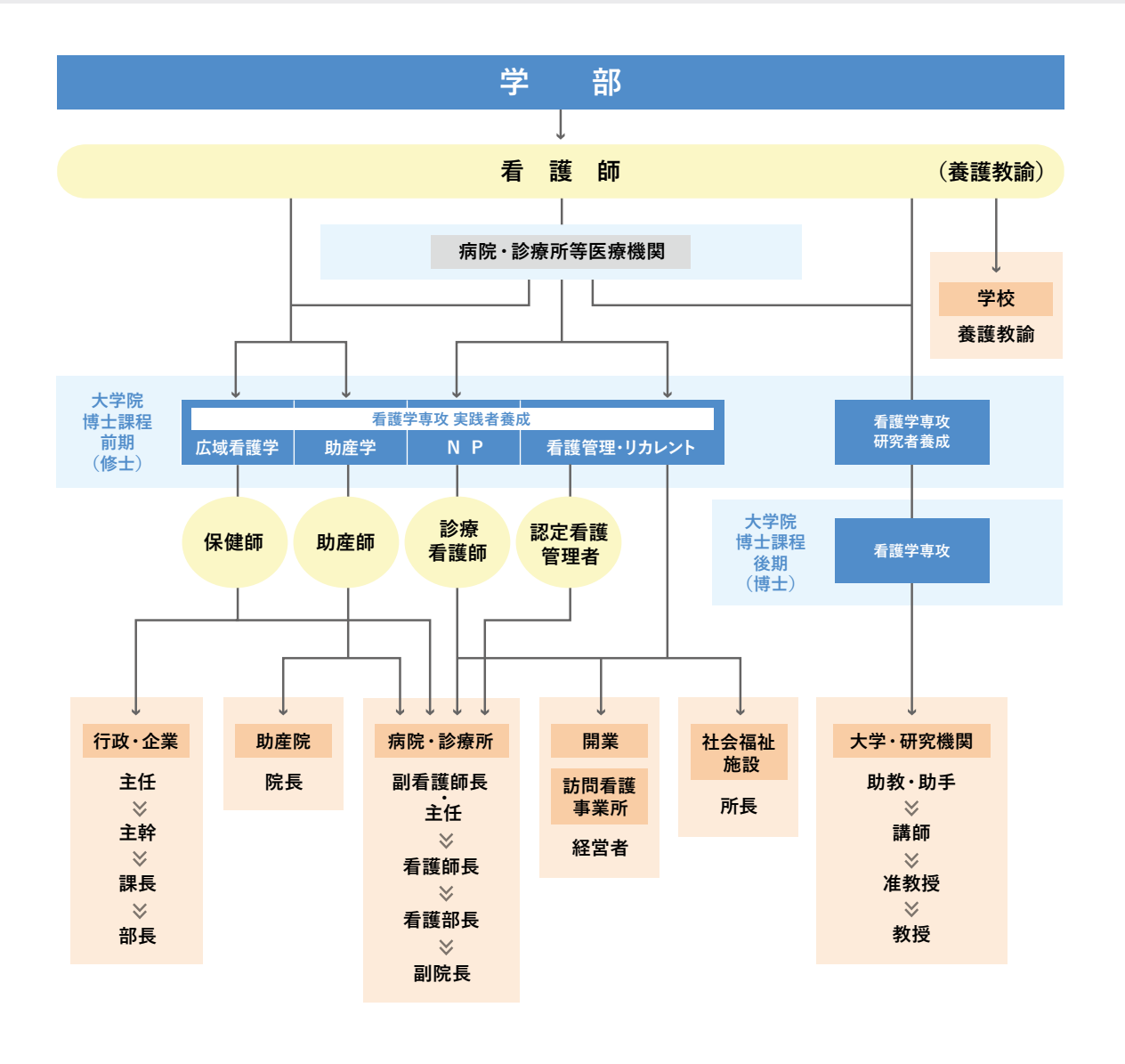
島根大学医学部附属病院
山口大学医学部附属病院
山口県済生会山口総合病院
愛媛大学医学部附属病院
岡山大学病院
国立病院機構関門医療センター
など

キャリアを積み重ねる

確かな知識と看護技術、豊かな人間性を基盤に自己実現できる人生を！

卒業後の進路は、病院だけでなく、保健所や市町村などの行政や、企業、訪問看護ステーション、助産院、社会福祉施設、学校など多岐にわたっています。大学院のコースによっては、卒業後すぐに進学することも可能です。

様々な臨床経験を積んだ後に大学院でさらなる研鑽を重ね、活躍の場を広げていくこともできます。



学生の就職・進学サポート

本学では、学生の就職・進学が円滑に進むよう支援しています

- 就職支援相談室／就職支援相談員を配置し、学生の個別就職相談を実施
- 就職情報コーナー常設
- 看護職キャリアガイダンス
- 病院選び、インターンシップ、履歴書の書き方、面接講座
- 模擬面接実施



就職情報コーナー



看護職キャリアガイダンス

Interview

患者さんの「その人らしさ」を考える より良い看護提供を日々追い求めています

国家公務員共済組合連合会
虎の門病院
井俣 美穂さん(16期生)
(看護師)



私は主に消化器外科・内科、血液内科で経験を積み、現在はチーフナースとして働いています。在学中は勉強や実習に励み、サークルや消防応援隊の活動も楽しむ、メリハリのあ

る日々を過ごしました。

卒業後、8年間看護師としての経験を重ねていくうえで、根拠に基づく看護実践、患者さんの地域での暮らしを考えること、また私が最も大切にしている「その人らしさ」とは何かを考えると、本学での学びは一人ひとりのニーズに沿った看護提供の基盤になっていると実感しています。

現在はチーフとして自分自身が看護実践のロールモデルとなれるように、また病棟全体で患者さん中心のより良い看護を提供できることなど、チーム運営や新人教育に取り組んでいます。スタッフの成長を感じる瞬間や、患者さんからこの病棟で良かったとお声をいただいた時の喜びは格別です。

本学は単科大学で小規模だからこそ、在学中から卒業まで一人ひとりに合った支援が得られると思います。今でもキャリアの相談をしたり、仲間の活躍が励みになったり、初心に返れる大切な場所です。

みて、聞いて、感じる「ひと」を理解すること、 様々なニーズをとらえたケアを考える

豊後大野市民病院
眞田 真彩さん(18期生)
(看護師)



私は豊後大野市民病院で看護師として働いて6年目になります。看護師は本当に多くの業務を担っていると日々感じています。多忙な業務の中で看護の専門性とは何かと考えることも多くなりました。

看護師が1人の患者さんと向き合える時間には限りがあります。その限られた時間の中で何をみて、触れて、聞いて、感じるのか、そこに看護の本質があると思っています。私がそう思う原点には、大学で学んだ4年間にあります。看護大では、看護専門系の講座に加えて人間科学講座や予防的家庭訪問実習など多様な講座や演習・実習があり、そこで様々な視点から「ひと」を理解する力を養います。その力が、対象となる人の心身の状態だけでなく、その人が置かれている状況やこれまでの生き方、今後の希望などあらゆる視点からニーズをとらえ、ケアを考えることにつながっていると思っています。

6年目になった今、大学での基礎教育の大切さを実感しています。これからもその学びを臨床で深めていきたいと思っています。

緑かがやく丘に立つ美しい校舎で快適なキャンパスライフを

Let's Go!

Campus Map

閑静な住宅地に隣接し、豊かな自然に囲まれた廻り野のキャンパス。
充実した設備・施設や、様々な支援体制を整えて、貴重な4年間の学生生活をバックアップしています。



実習の拠点として、実習先の1つである大分県立病院に隣接した場所にあります。カンファレンスをしたり、実習中の疑問をすぐに調べることができます。



研修・実習センター(南大分キャンパス)



C



大学附属図書館

図書館蔵書数(2024年4月1日現在)
●和書(冊)/79,826 ●洋書(冊)/7,211 ●雑誌(種)/652



カレッジホール



演習室



情報処理教室



Campus Map

D



基礎・成老年実習室



母性・助産実習室



小児・NP実習室



実験室

E



健康増進室

F



体育館

体育館や運動場、各教室では様々なクラブも活動しています！
嗜好が合う仲間同志での交流も学生生活の楽しみのひとつです。



Club Activities

体育系

- テニスサークル
- バドミントンサークル
- Calcio (女子フットサルサークル)
- バレーサークル

文化系

- 表千家茶道部
- 裏千家茶道部
- ボランティアサークル
- 軽音サークル
- 国際サークル (Décoller)
- 心電図サークル

Campus Calendar

1年を通して様々なイベントや行事を開催！

Have Fun!



学部生約80名、大学院生約30名が入学します。入学生はひとりずつ名前が呼ばれ、新生活の始まりを実感します。

学生自身が企画運営しています。健康チェックや献血コーナーなど、本学ならではの催しも好評で、地域の方にも楽しんでいただいています。

- 入学式
- 新入生オリエンテーション
- 授業開始



- 若葉祭



- 開学記念日
- ホームカミングデイ
- 実験動物慰霊祭



本学への進学を考えている方に、説明会と相談会、施設見学を実施しています。合格体験談や模擬授業など、夢が広がる内容が盛りだくさん！

- オープンキャンパス
- 夏期休業開始



- 大学院入学試験
- 夏期休業
- ウルサン大学との学生交流



- 授業開始
- 公開講座



- 看護国際フォーラム

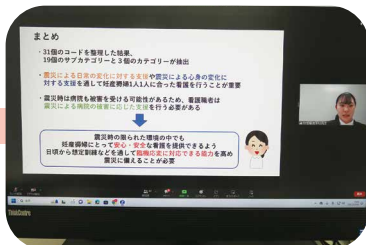


- 学校推薦型選抜試験
- 社会人選抜試験



学内での火事を想定した防災訓練では、蘇生法のデモンストレーションなど、教職員と学生双方が共に学びます。

- 卒業研究発表会
- 冬期休業開始



国家試験も終わり「ここで学んでよかった」と実感しながら、それぞれの進路へと巣立っていきます。

- 授業開始



- 防災訓練
- 看護師国家試験
- 一般選抜・前期日程試験
- 進級試験（2年次生）



- 春期休業開始
- 一般選抜・後期日程試験
- 卒業証書・学位授与式



※年間スケジュールは変更の可能性があります。

Campus Life

先輩が1週間&1日を紹介！

Research!



講義や予防的家庭訪問実習など、充実した日々

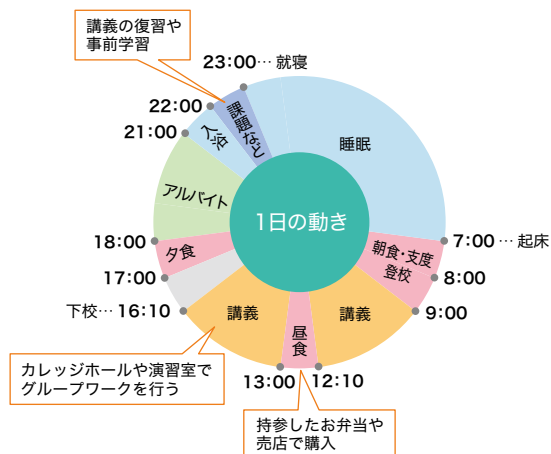
学部 3年次 田村 妙華さん

3年次は3か月にわたる領域別実習があります。長期の実習で大変なこともありましたが仲間と支え合いながらともに乗り越えられました。実際に患者さんとかかわることで、コミュニケーション能力や看護技術を身に付けられました。本学の特徴である予防的家庭訪問実習では、大学近くの地域に住む高齢者のご家庭を継続的に訪問し、地域に根差した活動を行っています。

学内には最新の設備が整った実習室や、学生一人ひとりが集中して勉強できる環境が整えられており、同じ目標に向かって頑張る友人たちから刺激をもらいながら毎日充実した大学生活を送っています。

1週間の動き

	月	火	水	木	金	土	日
1限目	小児看護学演習	老年看護学演習	【選択】臨床看護技術演習	母性看護学演習	精神看護学演習	アルバイト	
2限目							
3限目	成人看護学演習	環境保健学詳論	予防的家庭訪問実習	小児看護学演習	【養教選択者】教育方法論		課題など趣味
4限目		精神看護学演習				試験勉強	
5限目			アルバイト		アルバイト		



サークル活動や趣味も充実、演習実習の時間と自分の時間を両立

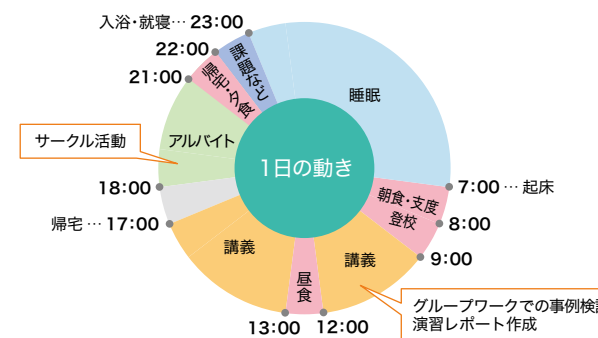
学部 3年次 今村 季空さん

3年次では主に、2年次で学んだ専門的な学習に基づき事例検討を行う演習科目を学びます。グループワークの機会が多く、学生同士で話し合いながら演習を行うので知識だけでなく思考力が身に付き、病院での実習でとても役立ちます。

また、日々の学習や試験・実習中の悩みだけでなく、日常生活についての相談なども先生方が親身に聞いてアドバイスをくれるので充実した学生生活を送れます。サークル活動やイベントも盛んで、あまった時間で趣味やアルバイトなど自分の時間を楽しめることもこの大学の強みです。

1週間の動き

	月	火	水	木	金	土	日
1限目	小児看護学演習	老年看護学演習		小児看護学演習			
2限目					精神看護学演習		
3限目	母性看護学演習	環境保健学詳論	予防的家庭訪問実習	母性看護学演習	在宅看護学演習		趣味アルバイトなど
4限目		精神看護学演習					
5限目							



学生支援

学習・生活・経済面において、学生一人ひとりが充実した
キャンパスライフをおくるためのサポートを用意しています

学習支援

 **ICTサポート** webのシステムを活用し最新情報の共有をしています。

▶ e-ラーニングの活用

看護技術オンライン教育ツールや「Google Workspace」など、学内外問わず、いつでも利用できるオンライン学習ツールを導入しています。看護技術オンライン教育ツールでは、看護技術の動画視聴や理解度の確認ができます。自主的に学修に取り組めるよう支援します。

▶ 図書館ポータルサイト(My OPAC)

大分県立看護科学大学に所属し、大学図書館を利用する皆さんには個人用ページが作られます。Web上で資料の予約、返却日の確認、図書購入リクエスト、文献複写依頼などが利用できます。

▶ 学生ポータルサイト

教員や事務室からのお知らせ、時間割、講義資料、卒業研究・論文など学修に関連する情報や、就職支援情報などをまとめた学生ポータルサイトを提供しています。

▶ 豊かな学内情報ネットワーク

新入生には、入学と同時にIDが付与され、学内の情報サービスを利用することができます。また、在学中は、個人所有のパソコンやタブレット端末などで最新のMicrosoft Office製品を利用することができます。さらに、講義室、図書館、食堂などキャンパス内の様々な場所に無線LANのアクセスポイントが設置されており、各自が持参したノートパソコンやタブレット端末などを接続することができます。

 **学習に関する相談、サポート** 対面で相談できる環境を整えています。

▶ 学年担任制

各学年に1～2名の教員を担任として配置しています。担任は、学生からの生活や学習に関する相談を受けて、大学生活を充実させるための環境整備や学生が必要とするサポートをタイムリーに実施しています。

▶ 教務学生グループ

講義・試験に関すること、福利厚生、学生の生活全般についてサポートします。



経済支援

- 授業料減免制度、奨学融資制度
- 奨学金(日本学生支援機構 第一種、第二種)
- 大学院特待生入学料免除、特待生授業料免除制度

詳しくは、
P45へ



生活支援

▶ 食堂

栄養バランスを考えた日替わり定食やカレー、丼物、麺類など安くおいしいメニューを提供しています。講義の間に仲間との語らいの場所としても使います。



▶ 売店

売店では、文房具、菓子などを販売しています。支払いはセルフレジでのキャッシュレス決済や交通系ICカードなどが利用できます。



 **健康サポート** 学生の体調を様々な方面から守っています。

▶ 保健室

学生の健康診断や個別相談などの健康管理、学生の保険関係についての支援を、保健室職員が中心に実施しています。



▶ 健康増進室

体育館の隣、交流棟にある最新の機器を備えたスポーツジムです。体育の授業で使用するのももちろんのこと、日頃の健康管理、筋トレに利用されています。



▶ 定期健康診断

毎年全学生を対象に健康診断を実施しています。

▶ 相談窓口

学生生活に関する相談を学内相談員、学外相談員が対応しています。



 **学生交流、新入生へのサポート** 学生が交流しやすい機会を作っています。

▶ 新入生オリエンテーション

大学生活への理解を深め、安全な学生生活をおくれるようにオリエンテーションをします。大学に早くなじめるようにレクリエーションも行います。



▶ 予防的家庭訪問のグループ

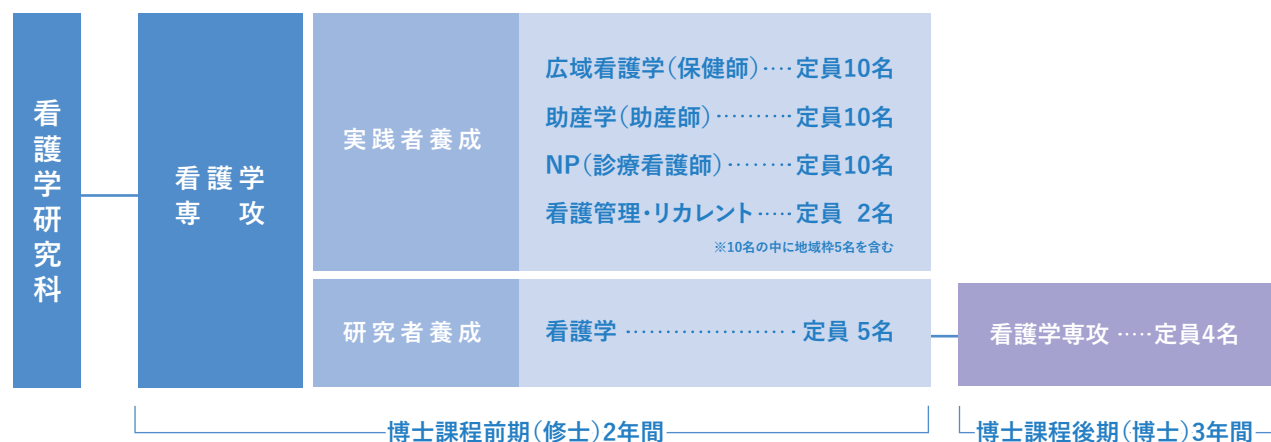
1年次生から4年次生の縦割りのグループを編成しています。普段の授業では関わりの少ない異なる学年の学生がグループを作ることで親しくなります。情報交換できるだけでなく、下級生は上級生の姿から自然に学ぶことができます。



大学院教育

高度な実践者と研究者の養成

社会人が働きながら学べる夜間授業体制を整え、専攻分野の研究力や実践力を強化するカリキュラムを提供します。研究者養成では研究計画報告会や中間報告会など段階的な指導を実施し、統計ツールやネットワーク環境が整った充実した研究環境を提供します。



Admission Policy

大学院アドミッションポリシー

本大学院では、より高度で専門的な看護学及びその周辺領域の科学を保健・医療・福祉の視野から捉え、追求することを通し、看護学ならびに周辺領域の教育者・研究者、および高度な知識と広い見識をもって社会に貢献できる看護の専門職を育てることを目指す。このために、以下のような入学者を求め、コース別にアドミッションポリシーを定める。

1. 保健・医療・福祉を発展させる意欲をもった人材
2. 保健・医療・福祉に関する知識と思考力をもった人材
3. 論理的な表現力をもってコミュニケーションを行うことのできる人材

〔研究者養成〕アドミッションポリシー

看護学専攻のうち本コースでは、博士課程(後期)への進学を念頭に看護学の研究を行う研究者を育成することを目的とする。このために、次のような人材を求め、アドミッションポリシーを定める。

1. 看護学に対する探求心を持ち、主体的・自律的に学ぶ力のある人
2. 看護学および関連領域の基礎学力を有し、特に研究論文を批判的に読み解く力、論理的に思考しデータを分析する力、研究の遂行と成果のまとめに必要なコミュニケーション能力と表現力を有する人
3. 将来、教育・研究を志望し、保健・医療・福祉分野を学術的に発展させる意欲のある人

〔博士課程(後期)〕アドミッションポリシー

看護学専攻において、看護学の探究を目指す、次のような入学者を求め、アドミッションポリシーを定める。

1. 看護学を探究するために必要な基礎学力および研究力を有する人材
2. 高い問題意識を持ち、研究テーマを自ら探究し設定する力を有する人材
3. 看護学の発展に貢献できる人材

〔実践者コース〕共通アドミッションポリシー

実践者養成コースでは次のような人材を求め、コース別にアドミッションポリシーを定める。

1. 看護学の基盤を有し、優れたコミュニケーション能力、高度な専門的実践能力と問題解決能力を身に付けようとする意志と探求心をもつ人
2. 幅広い視野をもち、社会に目を向け、保健医療福祉分野の発展・改革のための研究能力を身につけたい人

■ 広域看護学コース

保健師は地域社会の健康づくりのパートナーとして、人びとと協働して地域社会全体の健康課題を解決し、人びとのQOLを向上させていく活動を担う使命があり、科学的根拠に基づいて実践する能力が求められる。広域看護学コースでは、高度な判断力と実践力をもつ自律した保健師を育てることをめざして、実践者養成コース共通のアドミッションポリシーに加え、次のような人材を求める。

1. 人びとの生命と暮らしを守るため、地域をアセスメントし、課題を発見、改革に結び付けたい人
2. 保健領域における高度な知識や技術を身につけ、研究開発能力を身につけたい人

■ 助産学コース

助産とは、女性と家族の主体性を重視した安全安楽な出産への援助を中心とした、人間の生涯を通した性や生殖に関わる保健活動である。現在、周産期医療現場では、母子の生命を脅かす予期せぬ出来事や多重課題が山積しているため、本大学院では、高度な判断力と実践力をもつ自律した助産師を育てることをめざしている。そこで実践者養成コース共通のアドミッションポリシーに加え、次のような人材を求める。

1. 助産の専門的知識を基盤にした臨床推論能力と助産観を身につけようとする強い意志と自己学習能力をもつ人
2. 生命の誕生や存続への感性と倫理観をもち、予期せぬ場面にも柔軟な対応ができる人

■ NPコース

NP(診療看護師)は、「患者のQOL向上のために医師や多職種と連携・協働し、倫理的かつ科学的根拠に基づき一定レベルの診療を行うことができる看護師」(一般社団法人日本NP教育大学院協議会)である。NPコースでは、プライマリ領域のNPを養成する。実践者養成コース共通のアドミッション・ポリシーに加え、次のような人材を求める。

1. 看護職としての高い資質と倫理観を持ち、病む人やその家族のQOL向上のための思考ができる人
2. 看護実践の科学的な根拠を探究し、自己研鑽しつづける意志と学習意欲をもつ人
3. 協調性と自律性を持ち、チーム医療の中で看護実践できる人間関係能力をもつ人

地域枠では、NPコースアドミッション・ポリシーに加え、次のような人材を求める。

1. 大分県の医療に貢献する意志がある人

■ 看護管理・リカレントコース

臨床や地域で活動する看護職の学び直しと研究および看護管理能力の育成を支援するコースであり、実践者養成コース共通のアドミッションポリシーに加え、次のような人材を求める。

1. 看護職としての学び直しや研究および看護管理能力の向上に意欲のある人
2. 学び直しの成果や、研究および看護管理能力を通して、将来、高度医療専門職業人として、保健・医療・福祉分野への社会的発展に貢献する意欲のある人

広域看護学コース

看護学専攻 実践者養成

地域の健康課題の解決をめざして、
人々と協働する力と科学的根拠に基づく実践力を備えた保健師を育成します。

二次元コードより
カリキュラムの
流れをチェック

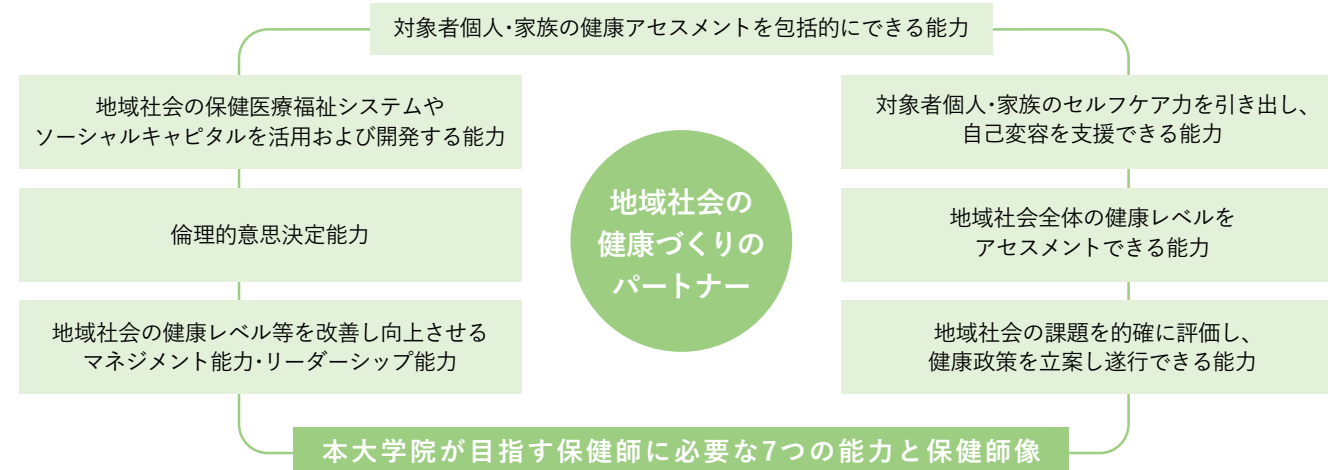


保健師国家試験
合格率
(合格者数)

2022年
100%
(4名)

2023年
100%
(6名)

2024年
100%
(8名)



INTERVIEW



地域の方の、 健康で豊かな生活を支援できる保健師へ

広域看護学コース 1年次生 高野 萌衣さん

私は学部実習を通して人々の生活に関心を持ちました。全ての地域の方が健康で豊かな生活を送れるよう、住民の方々と一緒に考えながら支援をしたいと思い、保健師を志しました。

大学院では「なぜ？」と常に疑問をいだき、根拠を持って自分の言葉で説明できる力を身に付けられます。また自分の強みや弱みに向き合う時間が多くあり、新たな自分の一面に気づくことができます。実習も充実しており、住民の皆さんに多くのことを教えていただきながら実習できることも本コースの魅力です。将来は大学院での学びを活かして、大分県内で活躍できる保健師を目指したいです。

助産学コース

看護学専攻 実践者養成

変動する社会のニーズに対応し、
母子保健の向上ならびに助産学の発展に貢献できる助産師の育成をめざします。

二次元コードより
カリキュラムの
流れをチェック

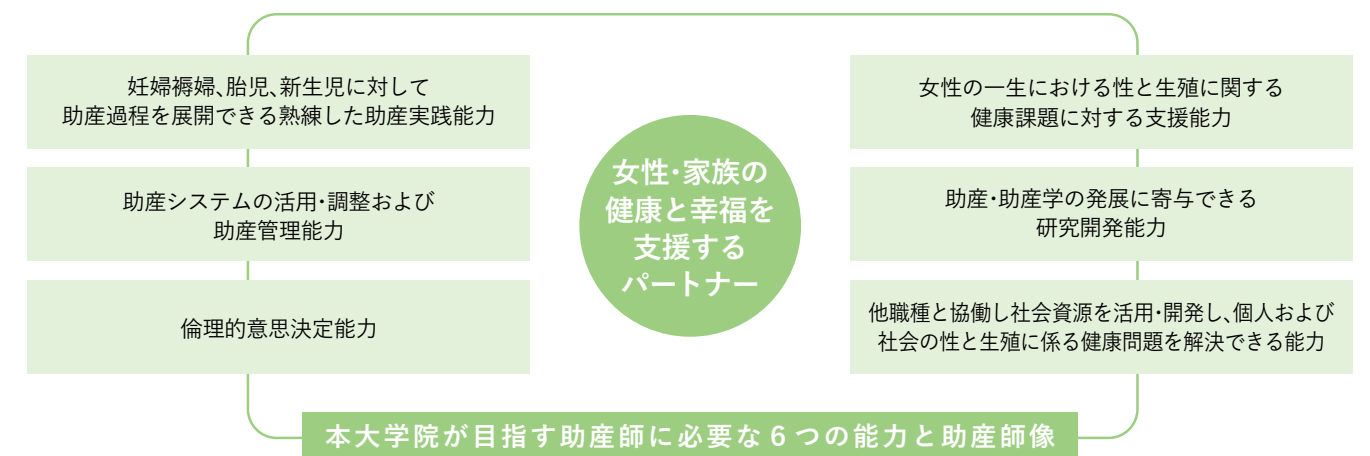


助産師国家試験
合格率
(合格者数)

2022年
100%
(5名)

2023年
100%
(10名)

2024年
100%
(7名)



INTERVIEW



助産師を目指して 学びながら自身の課題と向き合う

助産学コース 1年次生 佐藤 未来さん

高校生の時に助産師さんの講話を聞き、魅力的な職業だと感じ助産師を目指しました。本コースを志望したのは、妊娠各期に対応したカリキュラムのもとで、より専門的な幅広い視野を身に付けたいと考えたからです。講義では、基本的な知識からケアの実技まで、実際に対象者さんとかかわっていく上で必要なスキルを具体的に習得しています。また、段階的OSCE(客観的臨床能力試験)で自身の課題を明確にすることができるため、実習前より臨床に近い環境で学べます。同じ目標を持つ仲間と共に、充実した日々を過ごしています。

NPコース

看護学専攻 実践者養成

多職種と連携・協働し必要とされる診療行為を的確に実施し、患者および患者家族のQOLの向上に寄与できる診療看護師を育成します。

二次元コードより
カリキュラムの
流れをチェック



看護管理・リカレントコース

看護学専攻 実践者養成

看護管理・リカレントコースは看護管理や看護の実践について多角的な視点から学ぶコースです。

二次元コードより
カリキュラムの
流れをチェック

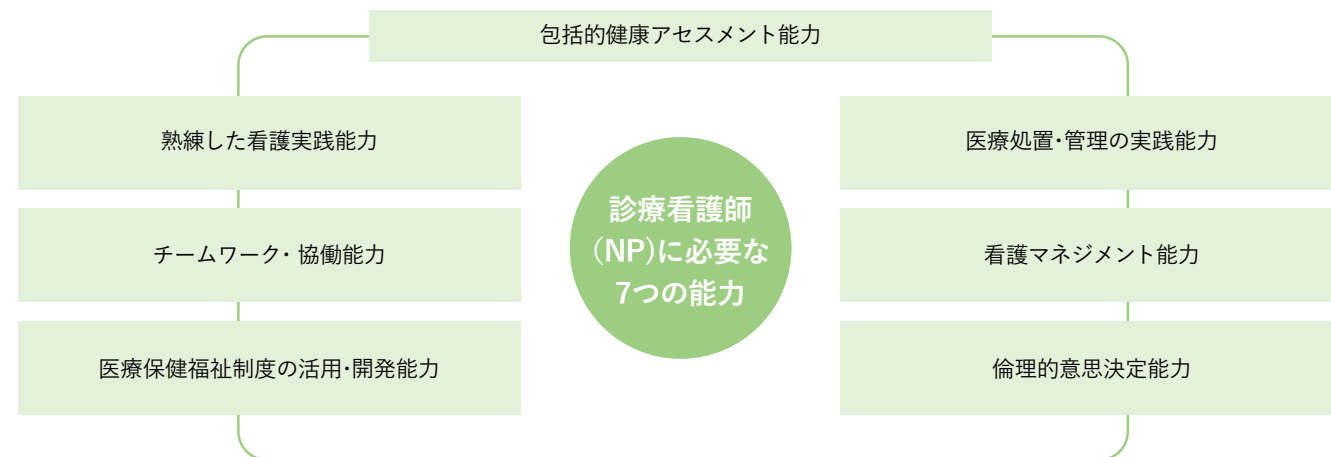


NP資格認定試験
合格率
(日本NP教育大学院協議会)

2022年
100%
(7名)

2023年
100%
(10名)

2024年
100%
(6名)



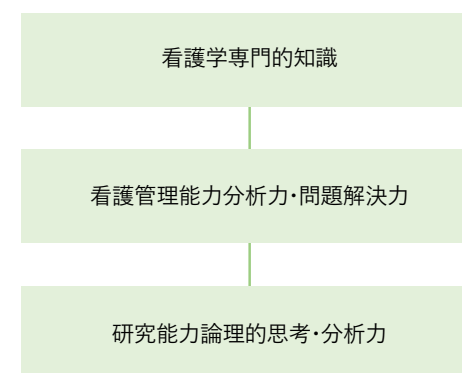
INTERVIEW



自己の知識不足を感じ進学、
看護実践能力を高め地域医療を支えられる人材に

NPコース1年次生 迫村 実都妃さん

日々の病棟勤務で患者さんとかかわる中で、アセスメント能力や判断能力など自己の知識不足を感じ、患者さんに寄り添ったケアや看護を提供したいと思うようになりました。患者さんに安心・安全な医療を提供するための知識と技術を学び、病院や地域の医療を支えられる人材になりたいという思いから進学を決意しました。入学後は学業に専念できるように職場と勤務の調整を行いながら日々の学習や実習に取り組んでいます。今後は、看護実践能力を高めながら医師と看護師の架け橋となり、患者さんのケアやマネジメントを統合的に行える診療看護師を目指していきたいです。



主な研究テーマ

- 急性期一般病棟の看護師から看護補助者に対する直接ケアに関する看護指示の実態調査
- 外来ブロック制導入に伴う次世代リーダーのスタッフ看護師に対するモチベーション支援のプロセス
- A病院における業務開始時の電子カルテによる患者情報収集に関する分析
- 心電図モニタに関するインシデント・アクシデント事例の発生要因と対応策の分析
- A訪問看護ステーションにおける業務効率化のための訪問スケジュールシステムの効果的な運用に向けた職員への支援に関する混合研究
- 臨地実習における看護学生のリスク感性と看護学生が認識する医療安全教育の関連
- 病院に勤務する看護師のチームワークに関連する要因～個人属性・看護提供方式・教育に着目して～

INTERVIEW



仲間と共に成長した1年、
未来の看護管理者としての第一歩

看護管理・リカレントコース1年次生 今井 友紀子さん

本学を修了したNPの方から「看護だけでなく多くの分野を学び、世界が広がる」という勧めがあり本コースへ入学しました。修士課程を修了でき、かつ認定看護管理者の受験資格を得られる本コースで学ぶことはとても「刺激的なチャレンジ」でした。看護はもちろん、様々な専門分野の先生方による講義や院生同士のディスカッションは、私の考える「看護」や「看護管理」に多角的な視点を与え、看護管理者としての柔軟性が生まれます。多彩なキャリアの仲間ができ、ともに学び、達成感を味わっています。

博士課程
(前期)

研究者養成コース

博士課程
(後期)

看護学専攻

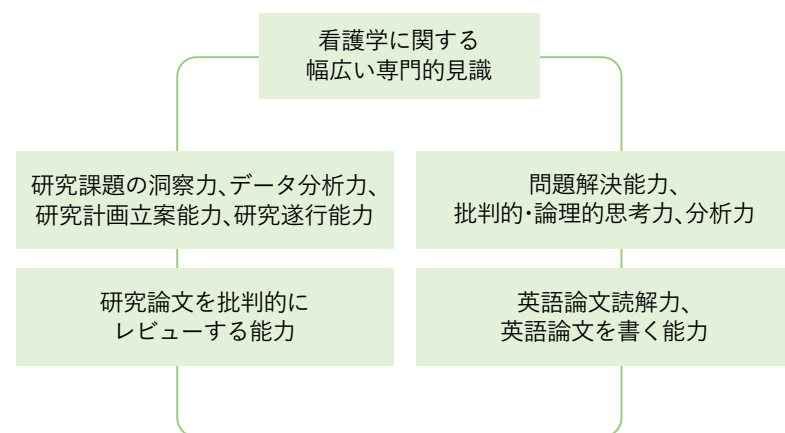
二次元コードより
カリキュラムの
流れをチェック



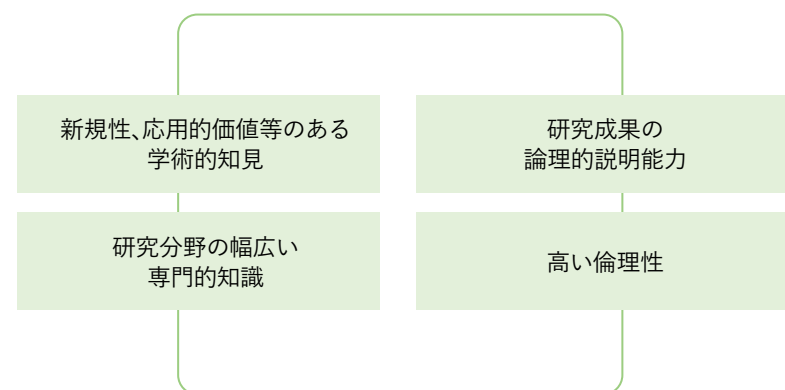
看護学専攻

看護学を探究する研究者を育成します。

博士課程(前期)看護学専攻 研究者養成コース



博士課程(後期)看護学専攻



修士生の研究例

博士課程(前期)看護学専攻 研究者養成コース

- 中高年齢労働者へ運動機能測定を導入した保健指導が運動行動変容に与える影響
- 呼吸・循環管理が特徴である部署の看護師による胸部単純X線画像活用の実態調査 -単純X線画像学習の看護基礎教育への導入に向けて-
- 地方の中小規模病院におけるトップマネージャーの自施設外における学びと看護管理行動および人材育成の関連
- 地域周産期母子医療センターで出産した褥婦への助産師による産後2週間検診の精神面への効果の検討

博士課程(後期)看護学専攻

- Research on Supervisor Support for the Health of Female Migrant Workers in Japan - Development of a Health Support Competence Scale of Supervisors
- 高齢者の安全運転の継続と運転断念を支援するための地域と看護のあり方に関する研究
- 看護系単科大学における教養教育の充実図るためのカリキュラム指標の提案
- 規則的な三交替勤務に従事する日本人男性労働者における眠気改善にむけた睡眠衛生教育の効果に関する研究

INTERVIEW



看護師が安全に働きやすい環境づくりに貢献するために

研究者養成コース、博士課程後期 修士生 黒岩 千翔さん

看護師として働く中で、より良く働ける環境を見い出したいと考え、研究者養成コース、そして博士課程(後期)に進学しました。進学後は、病院で勤務しながら勉強や研究に取り組みました。進学時は研究に関して知らないことが多かったですが、指導教員やゼミの先輩方に教わりながら研究成果をまとめられました。また、他コースの方と交流する機会もあり、刺激を受けられたことも良い経験になりました。今後は大学院で学んだ知識を生かし、看護師が安全に働きやすい環境づくりに貢献できるように、研究を続けていきたいです。

Interview



大学院時代の実践的な学びを経て、看護の魅力を伝える仕事へ

佐賀県庁医務課医療人材政策室 保健師
川久保 あゆみさん (広域看護学コース 修士生)

私は本コース修了後、地元・佐賀県の保健所に就職し、小児慢性特定疾病のお子さんへの支援やコロナ対応、水害対応などを経験しました。現在は県庁の医務課医療人材政策室で看護職確保のために県民に看護の魅力を伝える業務等を担当し、忙しいながらも楽しく働いています。

本コースで特に思い出に残っているのは、実習とその後の成果報告会です。現場の保健師さんや先生方の手厚い指導を受け、インタビューや家庭訪問、各種健診など、住民の皆さんと直接かわりながら、実践的に学べました。成果報告会では、実習の学びや考察を根拠に基づいてまとめる(「見える化」)ことが難しかったです。しかし、先生方がいつでも相談に応じてくれましたし、仲間と励ましあいがら無事に発表を終えた時の達成感はひとしおでした。

大学院生活は、実習や修士論文、国試の勉強で忙しくもありますが、コースの仲間とランチや旅行に行ったり楽しい思い出も多く、とても充実していました。



地域の医療を支える充実した日々 看護師として飛躍できる学び

公立邑智病院 看護部長・診療看護師
日高 美晴さん (NPコース 修士生)

2017年に大学院での履修を終え、在籍していた島根県公立邑智病院に戻り診療看護師(NP)として活動しています。先生方や同期の院生に助けられ、遠い大分の地で2年間の日々を乗り越えました。その後の活動は充実したものとなり、田舎の病院でも刺激の多い日々を送っています。

昨年の4月に看護部長に就任しました。それまでは実践が中心でしたが、今は管理業務も加わり忙しい毎日です。看護部長ではありますが、診療看護師(NP)の資格を取得したので、積極的に現場に出て患者さんやスタッフと関わっています。忙しい毎日ですが、今後プレイングマネージャーとして頑張りたいと思います。

看護師として飛躍したいと考えている方にはぜひNPを目指していただきたいです。

研究紹介

本学教員は日本学術振興会や民間企業・財団から研究費を獲得して
独創的・先駆的な様々な研究を行っています。
看護系の研究に限らず、多岐にわたる分野の研究を推進しています。

教員の研究について
大学HPで詳しく
紹介しています。



日本学術振興会・科学研究費補助金

看護系研究課題

- ヘルスヒューマニティーズを基盤とした
公衆衛生看護における態度・価値教育の構築
- 妊娠期の高脂肪食摂取が出生児の皮膚に与える
影響と増悪・感受性要因の解明
- 精神障害者が地域で活躍するための
総合的就労促進プログラムの構築と評価
- 育児の悩みを抱える幼児の親が援助要請行動に至る
プロセス及びその関連要因の解明
- 中小規模病院における効率的かつ
質の高い看護に向けた人材育成に関する理論の開発
- 自立高齢男性における咳嗽反射時の喀出力の
関連要因の解明 など

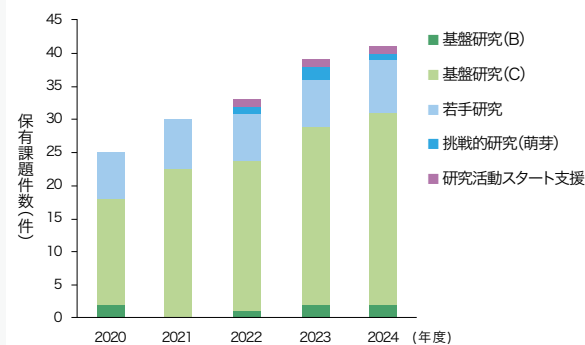
民間企業・財団からの研究助成金

- 加熱式たばこの能動喫煙及び受動喫煙による
雄性生殖機能変化と肺の炎症評価
- 胎脂の構成成分と新生児の皮膚バリア機能・皮膚組織に
与える影響
- ベルト電極式骨格筋電気刺激装置を用いた
難治性骨折に対する新規治療法の開発 など

人間科学系研究課題

- 看護学生の情報倫理統合力の修得を目的とした
学習支援ポータルサイトと演習教材の開発
- 放射線発がんの新たなリスクモデルを
細胞間コミュニケーションの視点から考える
- アロマトーゼ阻害薬が筋骨格系に与える影響の解明と
筋骨連関に着目した治療法の探索 など

学振科研費 保有課題件数一覧 (※延長課題含む)



研究テーマ

骨代謝疾患の予防および難治性骨折の新規治療法開発に向けた基礎研究

人間科学講座 生体科学研究室



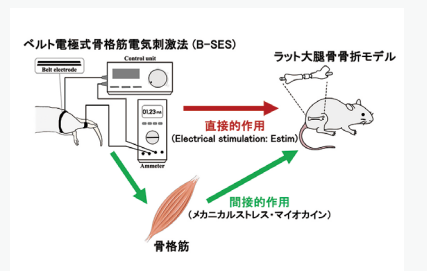
健康寿命の延伸が叶うよう 研究と臨床の橋渡しを目指す

坪内 優太 助教

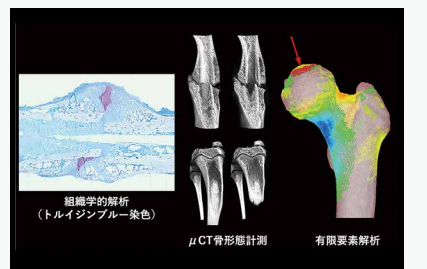
専門分野: 整形外科学、リハビリテーション医学、予防医学

日本在住の40歳以上における骨粗鬆症の推定患者数は、腰椎で640万人、大腿骨近位部で1070万人とされています。骨粗鬆症や脆弱性骨折は、要介護率の増加に繋がる主な原因の一つであり、超高齢社会の日本における喫緊の課題です。この社会課題に対し、これまで運動負荷や薬剤、栄養療法を併用することで、骨粗鬆症に対する予防的効果の検討や難治性骨折の治療促進に向けた基礎研究を進めてきました。

現在は、新たなアプローチとしてベルト電極式骨格筋電気刺激法(Belt electrode-Skeletal muscle Electrical Stimulation: B-SSES)に着目しており、骨粗鬆症をはじめとする骨代謝疾患の予防および治療、さらには骨折治癒の促進に応用できると仮説を立て、モデル動物を用いた基礎研究を進めています。将来的な臨床応用を明確に意図したトランスレーショナル・リサーチとして、医学・医療の発展のためにこれからも努力していきます。



B-SSESを用いた研究概略図



様々な方法による骨微細構造・骨強度の解析

研究テーマ

マイナス1歳からのスキンケアでWell-beingな未来を！

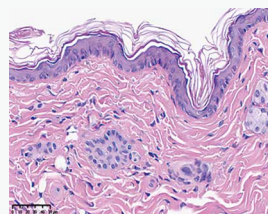


専門看護学講座 助産学研究室

赤ちゃんの皮膚のバリア機能を 良好に保つミッション

樋口 幸 准教授 (本学1期生)

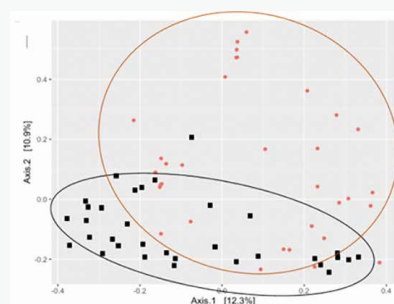
専門分野: 助産学、母性看護学、新生児看護



マウスの皮膚病理組織像



皮膚状態の測定(例)



新生児の腸内細菌叢多様性の変化

研究テーマ

自殺対策におけるゲートキーパー養成研修の効果とその持続性について

専門看護学講座 精神看護学研究室



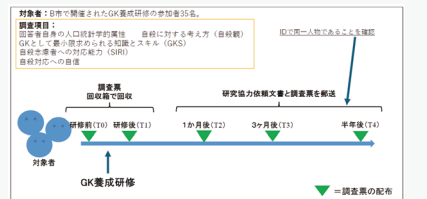
ゲートキーパーの養成法を探究し 日本の自殺対策へ活かしたい

後藤 成人 学内講師 (本学7期生)

専門分野: 自殺対策、依存症への看護、精神看護

自殺対策におけるゲートキーパー(GK)とは、自殺リスクの高い人に気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援に繋げ、見守ることのできる人のことで、自殺対策において世界的に重要視されています。このようなGKには誰でもなれるとされる一方、自殺に対する考え方や知識、対応する能力や自信は各々人で違います。研修によって、これらがどのように変化し、どのくらい持続するかを検証することで、今後の日本の自殺対策へ活かすことが、現在の研究テーマの一つです。

上記の研究の一環としてGK養成研修を開催した結果、研修直後には、自殺に対する考え方や対応への自信が望ましい変化を見せ、その後も持続することが分かりました。一方、知識には変化がないことや、対応能力は3か月後や半年後に向上することが判明し、研修のみならず、その後のフォローアップも重要であることが分かってきました。



研究のイメージ

項目	研修前(T0)	研修後(T1)	1か月後(T2)	3か月後(T3)	半年後(T4)	検定値
年齢	2.3(1.32~2.56)	2.0(1.18~2.42)	1.9(1.17~2.43)	1.2(1.13~1.83)	1.0(1.29~2.59)	p=0.005
性別	1.4(1.12~1.98)	2.0(1.12~2.37)	1.2(1.06~2.00)	0.8(0.57~1.34)	0.9(0.68~2.57)	p=0.009 T1 vs T0 p=0.011 T2 vs T0 p=0.002 T3 vs T0 p=0.002 T4 vs T0 p=0.002
性別	2.5(1.28~3.22)	2.0(1.41~2.55)	1.7(1.54~2.97)	1.5(1.22~2.05)	2.2(1.47~2.72)	p=0.009 T1 vs T0 p=0.011 T2 vs T0 p=0.002 T3 vs T0 p=0.002 T4 vs T0 p=0.002

自殺念慮者への対応能力の変化



地域社会への貢献

本学は、地域の保健・医療・福祉の拠点として、看護の側面から地域社会に貢献することを、重要な任務の一つに位置付けています。積極的に地域に出て、本学の教育・研究機能を提供することで県内の看護職の研究や現任教育を支援し、また自治体や企業等と連携した取り組みを展開するなど、地域の発展に貢献しています。

公開講座

本学は、広く県民の皆様の健康と福祉の向上に役立てたいと考え、看護職をはじめとする医療従事者のみならず、一般の皆様を対象に、毎年公開講座を開催しています。



※本学で開催し、オンラインでも参加できるハイブリット形式で実施しています。

学生による地域交流

大分県内でボランティア活動や、地域の人々とのふれあいを通じて、社会の一員としての自覚を高めます。ボランティア活動は、1年次開講の健康運動ボランティア演習と保健ボランティアの活動として、単位認定されます。



大分県国民保護共同実動訓練

令和7年1月16日に、大分県国民保護共同実動訓練（場所：大分スポーツ公園等）が行われ、本学の3年次生が被災者役として参加しました。

スポーツ会場でのテロ事件を想定した訓練で、多数の観客が被災するというシナリオでした。発生直後、その場で動けない被災者、自力ですぐにその場から避難する被災者など、学生一人ひとりが異なる傷病者役割を演じました。学生全員が、傷病の緊急度や重症度に応じて赤、黄、緑のタグを付される（トリアージ）体験をしました。現場に到着した消防隊などにより搬送される体験をした学生もいれば、医療者による治療や除染を体験した学生もいました。多職種が連携して災害対応を行う様子を目の当たりにし、災害現場の厳しさを知ることができました。

今回の訓練を通じて、学生は、救助活動における迅速さとコミュニケーションの重要性を実感し、被災者への細やかな配慮の大切さに気づくなど、多くのことを学びました。



主なボランティア活動

- ななせ里祭り ● 富士見が丘団地夏祭り ● 富士見が丘団地体育祭
- 総合型地域スポーツクラブ交流会 ● 大分トリニータホームゲーム
- 別府大分毎日マラソン ● 森林探検ウォーキング

健康増進プロジェクトチーム

開学の翌年に健康増進に関する研究とその知見に基づく地域貢献を行うため、「野津原プロジェクト」として開始しました。2006年に「健康増進プロジェクト」に名称変更し、高齢者の健康増進を目指した介護予防事業プログラムの開発と大分県内での普及を中心にプロジェクト活動を展開していくことを目的に活動しています。また、介護予防事業を支えるボランティアの育成にも取り組み、サロン等で行われる介護予防事業を支援し、活動の継続を図っています。



産学官連携推進チーム

高齢者に優しい家具の開発など、看護の視点から産業を創出する取り組みのため、企業や大分県・大分市などと連携を進めています。



産学官共同研究開発商品（地域資源活用商品）



猫背の方でも長時間座れる椅子
C-Fit-Chair
シーフィットチェア

・大分県産業科学技術センター
・大分県立芸術文化短期大学
・大分県立看護科学大学
・中津家具株式会社



社会や企業が必要とするニーズと本学研究者のシーズのマッチングを図るため、研究シーズ集を作成しております。研究シーズ集は右の二次元コードからご覧いただけます。



大学生消防応援隊(Oita-NHS-team)の活動紹介

◆ 結成の経緯

2012年(平成24年)年末に大分県生活環境部 消防保安室 消防班より「大学生消防応援隊」の結成の打診があり、2013年度(平成25年度)に学生募集を行いました。16名の学生から参加希望が寄せられ、活動を開始しました。2014年(平成26年)3月28日に結成式を開催しました。

◆ 活動の目的

地域での防災・減災の活動や災害時の活動を学び、地域での防災・減災活動に参加し、看護学生として地域に貢献します。

◆ これまでの主な活動

- ・ 防災訓練における避難誘導や AED 使用訓練(学内活動)
- ・ オープンキャンパスにおける AED 体験コーナー企画運営(学内活動)
- ・ 普通救命講習の受講、応急手当普及員講習の受講
- ・ 「救急の日」及び「救急医療週間」に伴う街頭啓発活動参加
- ・ 「消防フレンドパーク」に伴う応急手当普及啓発活動参加
- ・ 大分県消防操法大会参加
- ・ 大分市一日消防隊長参加
- ・ 大分市一日救急隊長参加
- ・ 大分県国民保護共同実動訓練に被災者役で参加
- ・ 大分 DMAT 研修に被災者役で参加
- ・ 大分県消防学校への一日体験入校
- ・ 他大学の応援隊との交流会や活動の視察 など





看護・医療への貢献

統計・情報処理サポート



看護をはじめとした保健医療福祉分野の研究を支援する活動の一環として、個別にご相談をお受けし、研究の質向上をお手伝いしています。看護職をはじめとして保健医療福祉の分野にかかわる実務家、研究者で、データ解析およびその周辺に関して支援を求める方々なら、どなたでも本相談を利用することができます。

看護国際フォーラム



本学は、開学以来毎年10月に看護国際フォーラムを大分県看護協会と共催しています。時代のニーズに合ったテーマを選び抜き、その分野で活躍する講師を、国内外から広くお招きしています。これからも更なる看護の発展を目指して、時代の変化や新たな取り組みに目を向けながら、本フォーラムを通して情報や課題を発信する機会を作り続けていきます。

看護科学研究



1999年に創刊し、看護学、健康科学の前進に寄与することを目的としています。看護学系では国内初の電子ジャーナルです。投稿は無料、誰でもインターネットで読むことができます(下記二次元コードより)。J-STAGE、医学中央雑誌、メディカルオンラインの3つのデータベースに登録されています。



看護研究支援



地域貢献の一つとして、大分県内の医療施設等が行っている、看護の質改善に向けた看護研究の取り組みを支援するために2002年より継続的に行っています。初めて研究に取り組む個人(あるいはグループ)への支援から施設の研究を指導する立場の方への支援まで幅広い内容で行っております。

大分県中小規模病院等看護管理者支援事業



本学は、2017年度より、大分県、大分県看護協会、大分大学と共同で、大分県内の中小規模病院等の看護管理者の看護管理能力向上を支援する、アウトリーチ型事業を展開しています。これは、保健所保健師の方々が運営する「看護の地域ネットワーク」を基盤に、地域の病院、診療所、訪問看護ステーションなどの看護管理者や次世代リーダーが、定期的集まり、各組織の現状と課題を分析し、情報交換の中から対策を考え実践する取り組みです。毎年秋には、県内全域の看護管理者等を対象とする研修を開催しています。



国際交流

海外の大学との学生交流

本学では国際的な視野を広げ、能力を高める機会を豊富に提供しています。海外の講師や大学生との交流を通してグローバルな看護を考えていきます。

貴重なグローバル体験ができる!



現地での交流も楽しみのひとつ



2000年から、韓国など海外の大学との交流を行っています。海外の大学生と、大学や病院を見学するなどの交流を通して、他国の保健・医療・福祉、看護の現状を学んでいます。それぞれの国の文化や伝統に触れ、国際的な視野を広げる貴重な機会となっています。毎年、韓国蔚山大学校医科大学の学生が来学し、本学からも学生が訪問し交流しています。

納付金

学部

入学科	大分県内	232,000円	それ以外の方は 332,000円
授業料	年額	535,800円	4月、10月に 各267,900円を納付 ※1年生のみ5月、10月
後援会費	4年間	50,000円	
自治会費	4年間	20,000円	
学生教育研究 災害傷害保険料		3,370円	
学研災付帯 学生生活総合保険料		36,880円	ほか6タイプあり

※上記納付金額は予定額であり、入学または在学時に金額の改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

授業料の減免制度

本学は「高等教育の修学支援新制度」の対象大学です。世帯収入や資産、多子世帯、学習意欲等の要件を満たす場合は、入学金・授業料が減額又は免除となります。本制度では日本学生支援機構の給付型奨学生または多子世帯支援の認定を受けた学生が、減免の対象者となります。

その他の経費

学部は教科書・実習衣等で100,000円程度必要となります。大学院は教科書等の経費が各コースによって異なります。

大学院

入学科	大分県内	232,000円	それ以外の方は 332,000円
授業料	年額	535,800円	4月、10月に 各267,900円を納付 ※1年生のみ5月、10月
学生教育研究 災害傷害保険料		1,790円 2,650円	
学生教育研究 災害傷害保険料		19,850円 28,370円	ほか6タイプあり NP、広域看護学、 助産学の3コースは必須

※上記納付金額は予定額であり、入学または在学時に金額の改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

奨学金

人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学困難な者（奨学金の種類により、それぞれ学力・収入の基準が定められています）。

日本学生支援機構

第一種と第二種の貸与を併せて受けることもできます。

第一種奨学金	第二種奨学金	給付奨学金
学部 自宅通学 20,000円、30,000円、45,000円のいずれか 自宅外通学 20,000円、30,000円、40,000円、51,000円のいずれか 大学院 修士 50,000円、88,000円のいずれか 博士 80,000円、122,000円のいずれか	学部 20,000円から120,000円のうち1万円単位で選択 大学院 50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円のいずれか	学部 自宅通学 7,300円(8,400円)、9,800円(11,100円)、19,500円(22,200円)、29,200円(33,300円)のいずれか 自宅外通学 16,700円、22,300円、44,500円、66,700円のいずれか ※生活保護を受けている生計維持者と同居している人及び社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学する人は、上表のカッコ内の金額となります。 ※支給金額は、収入の基準(世帯の所得金額)に基づき決定されます。
※その他、地方公共団体及び民間団体等から奨学金の募集があります。		

大学院特待生入学科免除 本学4年次の在学学生が、本学大学院に進学する場合、成績優秀者8名を上限として入学科を免除する制度があります。	大学院特待生授業料免除 博士課程(前期)の全入学生のうち、1年次の学業成績及び人物ともに優秀な者6名以内に対して、2年次後期の授業料を免除する制度があります。	村嶋幸代名誉学長学費支援奨学金 修了後に本学同窓会もしくは厚生学院同窓会に所属し、博士課程前期広域看護学コース、博士課程後期看護学専攻に入学し、修了後に大分県内で勤務する意思のある者に対して、学業奨励を目的とし、学費支援として博士課程前期の者は25万円、博士課程後期の者は50万円を支給する。
--	---	--

 自宅外生の家計簿	住居費 47,000円/月	食費 18,000円/月
---	-------------------------	------------------------

おおよその平均です。
住む場所や広さによって、多少住居費の変動があります。

入試情報

2025年度 入学者選抜試験結果

	募集人員	出願者数	出願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	実質倍率	入学者数
特別選抜	30	83	2.8	83	2.8	30	2.8	30
学校推薦型	30	83	2.8	83	2.8	30	2.8	30
社会人	若干名	0	-	0	-	0	-	0
私費外国人留学生	若干名	0	-	0	-	0	-	0
一般選抜	50	364	7.3	248	5.0	59	4.2	51
前期日程	40	161	4.0	155	3.9	47	3.3	42
後期日程	10	203	20.3	93	9.3	12	7.8	9
合計	80	447	5.6	331	4.1	89	3.7	81
男	-	30	-	19	-	7	-	7
女	-	417	-	312	-	82	-	74

	計	九州・沖縄(うち大分県)	四国	中国	近畿	中部	東北・北海道・その他
出願者	447	399(248)	6	24	8	5	5
入学者	81	75(55)	1	4	0	1	0

2025年度 学校推薦型

	計	九州・沖縄(うち大分県)	四国	中国	近畿	中部	東北・北海道・その他
出願者	83	83(83)	0	0	0	0	0
入学者	30	30(30)	0	0	0	0	0

2025年度 一般前期

	計	九州・沖縄(うち大分県)	四国	中国	近畿	中部	東北・北海道・その他
出願者	161	137(76)	4	10	6	2	2
入学者	42	36(21)	1	4	0	1	0

2025年度 一般後期

	計	九州・沖縄(うち大分県)	四国	中国	近畿	中部	東北・北海道・その他
出願者	203	179(89)	2	14	2	3	3
入学者	9	9(4)	0	0	0	0	0

2025年度 大学院博士課程前期入学者選抜試験結果

	募集人員	出願者数	出願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	実質倍率	入学者数
看護学専攻	37	47	1.4	47	1.4	33	1.4	28

2025年度 大学院博士課程後期入学者選抜試験結果

	募集人員	出願者数	出願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	実質倍率	入学者数
看護学専攻	2	2	1	2	1	2	1	2
健康科学専攻	2	1	0.5	1	0.5	1	0.5	1



募集要項請求方法

下記いずれかの方法でアクセスしてください。

1

ホームページから請求

本学のホームページから直接資料請求できます。
<https://www.oita-nhs.ac.jp/site/examination/list120.html>



2

「モバっちょ」での請求

<http://djcm-bj.jp/oita-nhs2/>





スマホ・タブレットPCから ご覧頂けます



大学案内が
電子書籍に！

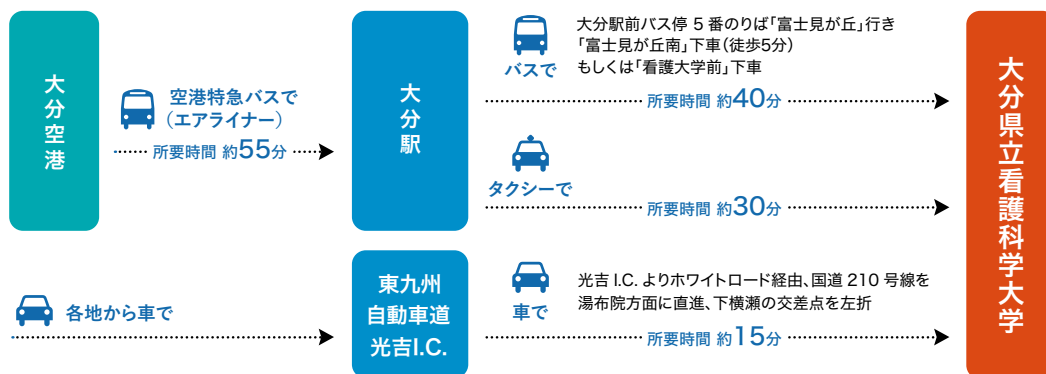
大分県立看護科学大学大学案内2026年度版は電子書籍としてお持ちのスマホやタブレットなどからご覧頂けます。

ホームページからご覧いただけます。





大分駅から大学へは、バスもしくはタクシーを使うと便利です！



公立大学法人 **大分県立看護科学大学**

〒870-1201 大分県大分市大字廻栖野2944-9
TEL.097-586-4300 FAX.097-586-4370

<https://www.oita-nhs.ac.jp/>
<https://daigakuojc.jp/oita-nhs/>



OitaNHS



@OITA_NHS

[Facebook] <https://www.facebook.com/OitaNHS>
 [Instagram] https://www.instagram.com/oita_nhs/